

令和 7 年度 道路橋梁整備事業

設計書

市道那波佐方線道路新設工事（第 8 期）

（当初設計）

工事番号

路線名等 市道 那波佐方線

工事箇所 相生市 那波 地内

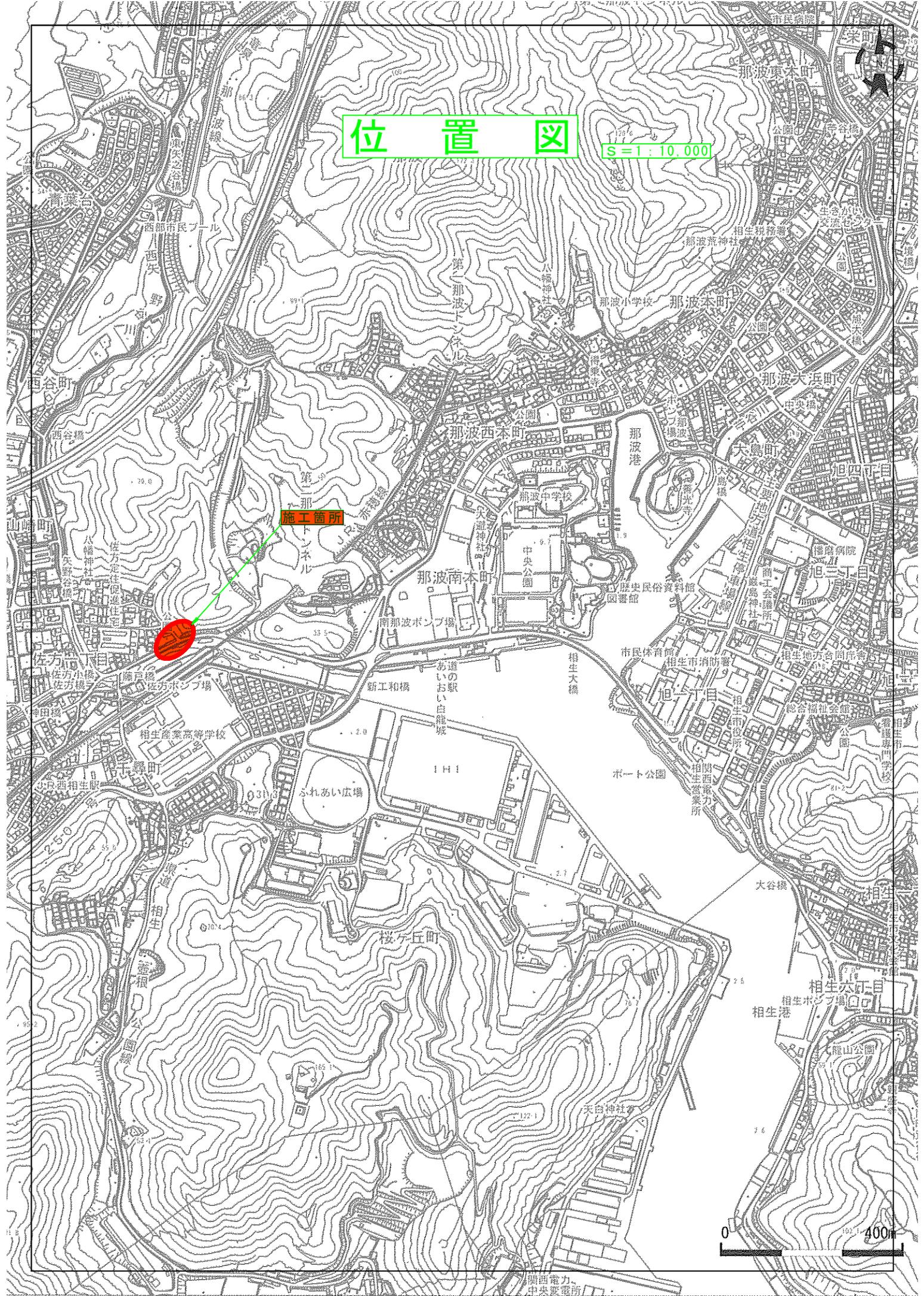
工 種 道路改良

位置図

S=1:10,000



施工箇所



総括情報表

単価適用年月日	0-08.02.01(0)		
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休2日補正	今 回 04 道路改良 35 一般交通影響有り(2)-2 02 補正なし 1.00 01 計上する 05 対象外	前 回	

工事費内訳書

頁0-0002/0082

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
道路改良							
道路土工							
掘削工							
土砂等運搬							
	積込(ルーズ) 土質->土砂 ; 作業内容->土量50,000m3未満	700		m3			施工 第0-0001号内訳表
	土砂等運搬;(標準) 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む) ; DID区間->無し	700		m3			施工 第0-0002号内訳表
作業土工							
床掘り							

工事費内訳書

頁0-0003/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	30		m3			施工 第0-0003号内訳表
埋戻し						
埋戻し RC-40	10		m3			施工 第0-0004号内訳表
残土処理工						
土砂等運搬						
土砂等運搬；(小規模) 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む) ；DID区間→無し	30		m3			施工 第0-0006号内訳表
床版仮設工						
床版仮設工						
プレキャストボックス						

工事費内訳書

頁0-0004/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
床版架設工 PC床版 3.5*1.2*0.15 台座 2.0箇所	1			式					施工	第0-0007号内訳表
函渠工 PCボックスカルバート 900×600×670/1340	1			式					施工	第0-0016号内訳表
3号集水柵工 600×1400×1250 グレーチング 細目 歩道用	1			箇所					施工	第0-0018号内訳表
排水構造物工										
側溝工										
街渠側溝										
プレキャスト街渠 JS-150 同等品以上	39			m					施工	第0-0020号内訳表
現場打街渠(2) NG515K-S	4			m					施工	第0-0022号内訳表
接続排水管 VP φ75	0.5			m					施工	第0-0026号内訳表

工事費内訳書

頁0-0005/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水桝・マンホール工						
プレキャスト街渠桝						
1号街渠桝 プレキャスト桝街渠用	4		箇所			施工 第0-0027号内訳表
暗渠排水管						
暗渠排水管 据付 直管(50～150mm)	7		m			施工 第0-0029号内訳表
構造物撤去工						
防護柵撤去工						
防護柵撤去(ガードレール)						
ガードレール撤去工 Gr-C-2B	44		m			施工 第0-0030号内訳表

工事費内訳書

頁0-0007/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし ; D I D区間有り L=10.9km以下	2		m3			施工 第0-0034号内訳表
殻運搬 舗装版破碎 ; D I D区間無し L=3.5km以下	8		m3			施工 第0-0035号内訳表
運搬費 ; 運搬距離 1 1 . 7 km	1		台			施工 第0-0036号内訳表
殻処分						
処分費 コンクリート殻(鉄筋) ; 投棄量 2 m3	1		式			施工 第0-0037号内訳表
処分費 アスファルト殻 ; 投棄量 8 m3	1		式			施工 第0-0038号内訳表
処分費 汚泥 500kgまで一律5000円	1		式			施工 第0-0039号内訳表
現場発生品運搬						
現場発生品及び支給品運搬 ; クレーン装置付 2t級 吊能力2.9t L=9.0km以	0.7		t			施工 第0-0040号内訳表

工事費内訳書

頁0-0008/0082

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装							
舗装工							
舗装準備工							
不陸修正							
	不陸修正 補足材料->無し						
	アスファルト舗装工（車道部）	1,560		m2			施工 第0-0041号内訳表
	下層路盤（車道・路肩部）						
	下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚->50mm 1層施工 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40						
	上層路盤（車道・路肩部）	1,560		m2			施工 第0-0042号内訳表

工事費内訳書

頁0-0009/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 100mm	1,560		m2			施工 第0-0043号内訳表
基層(車道・路肩部)						
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20) ; (2.35)	1,560		m2			施工 第0-0044号内訳表
アスファルト舗装工 (歩道部)						
下層路盤(歩道部)						
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	120		m2			施工 第0-0045号内訳表
上層路盤(歩道部)						
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚 t = 100 1層施工 再生クラッシュラン RC-30, RC-40	125		m2			施工 第0-0046号内訳表
表層(歩道部)						

工事費内訳書

頁0-0010/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
表層(歩道部) t = 30mm 各種(1.90以上2.00t/m3未満)	125		m	2					施工	第0-0047号内訳表
縁石工										
縁石工										
歩車道境界ブロック										
歩車道境界ブロック設置 標準部 A型 基礎砕石:有り(再生砕石 RC-40) 基礎コン:有	43		m						施工	第0-0048号内訳表
仮設工										
工事用道路工										
仮設舗装										
仮舗装復旧 密粒度アスコン t=3cm 不陸整正 補充材有	26		m	2					施工	第0-0049号内訳表

工事費内訳書

頁0-0011/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	26		人日			施工 第0-0052号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						

工事費内訳書

頁0-0012/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費等						
スクラップ控除			式			
スクラップ控除費			式			
鉄屑 ペーパー H3			式			
		0.7	t			
工事価格計						
消費税相当額						
総 計			式			

積込(ルーズ)
[規格1] 土質→土砂

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0013/0082

[規格2]

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホリ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(2014年)]				バックホリ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 0.8/0.6m3			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R								
Z1	軽油 パトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1		積込(ルーズ)				
B	土質	=1		土砂				
C	作業内容	=1		土量50,000m3未満				

積算単価算出表

埋戻し

[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0017/0082

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホリ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホリ(クローラ型) [後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K2	タンバ°及びランマ 質量60~80kg			タンバ°及びランマ [ランマ] 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 パ°トル給油			軽油			
Z2	ガ°ソリン レギ°ユラ°スタント°			レギ°ユラ°ガ°ソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							

コンクリート
[規格1] 無筋・鉄筋構造物

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0022/0082

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

コンクリート
[規格1] 小型構造物

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0026/0082

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->17.5cmを超え20.0cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0029/0082

[摘要]

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ	山積0.8m3(平積0.6m3) [クラウ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クラウ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							

積算単価算出表

ボックスカルバート

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0033/0082

[規格1] 作業区分->据付 L=1.0m/個

[規格2] 1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5

[摘要] 県歩掛最小構造値を適用

1 m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ラフテレンクレーン 25t吊 [油圧伸縮ジブ型] 排出ガス対策型含			ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 オペレータ付き			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	ボックスカルバート RC B1500×H1500×L1000 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート 斜切 B900×H600×L670/1340			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	作業区分	=1	据付				
B	製品長	=1	1.0m/個				
C	内空幅・内空高(m)	=4	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5				
D	基礎材種別	=2	基礎砕石				
F	ボックスカルバート(円/m)の単価コード	=1	ボックスカルバート(円/m)の単価コード				

コンクリート
[規格1] 小型構造物

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0035/0082

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

基礎砕石

積算単価算出表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0042/0082

[規格1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下

[規格2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ	山積0.8m3(平積0.6m3) [クラッシャー型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クラッシャー型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							

プレキャスト集水桝

[規格1] 据付 W=80kgを超え200kg以下

[規格2] 基礎碎石->有り

積算単価算出表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0046/0082

[摘要]

1

基 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)1.7t吊 [クローラ型クレーン付] 排出ガス対策型含				バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型クレーン付(1.7t) 山積0.28m3級			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R2	普通作業員				普通作業員			
R3	土木一般世話役				土木一般世話役			
R4	特殊作業員				特殊作業員			
R								
Z1	軽油 パトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1		据付				
B	製品質量(kg/基)	=2		80kgを超え200kg以下				
C	基礎碎石の有無	=1		有り				

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0050/0082

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
K1	コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式(超低騒音型)・湿式]				コンクリートカッタ [ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級				
K									
R1	特殊作業員				特殊作業員				
R2	土木一般世話役				土木一般世話役				
R3	普通作業員				普通作業員				
R									
Z1	コンクリートカッタ(ブレード) 径18インチ				舗装版切断 カッターブレード 径18インチ				
Z2	ガソリン レギュラー スタンド				レギュラーガソリン				
Z									
					計				
積算単価 =									
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版					
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下					

舗装版破碎積込(小規模土工)

[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0051/0082

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	小型バックホウ(クローラ型)山積0.13m3(平積0.10m3) [標準型・排出ガス型(第2次基準値)]				小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m3			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R								
Z1	軽油 ハートル給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								

不陸整正

[規格1] 補足材料->無し

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0059/0082

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータグレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K3	タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 13~14t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			

積算単価算出表

下層路盤(車道・路肩部)

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0061/0082

[規格1] 全仕上り厚→50mm 1層施工

[規格2] 再生クラッシャーレン RC-30, RC-40

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータグレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K3	タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 13~14t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	クラッシャーレン C-40 全厚t=150mm			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							

上層路盤(車道・路肩部)

[規格1] 粒調砕石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0063/0082

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータグレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K3	タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 13~14t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整砕石 RM-40 全厚t=150mm			粒調砕石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							

基層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

積算単価算出表

施工 第0-0044号内訳表

頁0-0065/0082

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 パトロール給油			軽油			

積算単価算出表

フィルター層

[規格1] t = 40mm以上60mm未満

[規格2] 洗砂

[摘要]

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0067/0082

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m ³ (平積0.09m ³) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)]			小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)] 0.11/0.09m ³			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	砂 再生砂			砂 洗砂			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			

積算単価算出表

上層路盤(歩道部)

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0069/0082

[規格1] 全仕上り厚 t = 100 1層施工

[規格2] 再生クランチャー RC-30, RC-40

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	小型バックホウ(クロー型) 山積0.09m ³ (平積0.07m ³) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)]			小型バックホウ(クロー型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)] 0.09/0.07m ³			
K2	振動ロー(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ロー(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-30 全厚t=100mm			再生切込碎石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			

表層(歩道部)

[規格1] t = 30mm

積算単価算出表

[規格2] 各種(1.90以上2.00t/m3未満)

[摘要]

施工 第0-0047号内訳表

頁0-0071/0082

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅1.4~3.0m [クローラ型]			アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 1.4~3.0m			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバイント式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバイント型 3~4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生密粒度アスコン TOP13 t=40mm			開粒度アスコン ストレートAs新規材 TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							

歩車道境界ブロック設置

積算単価算出表

施工 第0-0048号内訳表

頁0-0073/0082

[規格1] 標準部 A型

[規格2] 基礎砕石:有り(再生砕石 RC-40) 基礎コン:有 [摘要]

1 m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m ³ 級			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	型わく工			型わく工			
R							
Z1	歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600)			歩車道境界ブロック A [下水汚泥スラグ入り] 一般部			
Z2	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z3	再生クラッシュヤーン RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z4	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							

不陸整正

積算単価算出表

施工 第0-0050号内訳表

頁0-0076/0082

[規格1] 補足材料->有り(28mm以上34mm未満)

[規格2] 再生クラッシャーレン RC-30, RC-40

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータグレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K3	タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 13~14t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生クラッシャーレン RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 30mm

積算単価算出表

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0078/0082

[規格2] 密粒度アスコン[下水スラグ^レ入再生材](13)

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイト ^レ 式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイト ^レ 式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ ^レ 入) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	ガソリン レギュラー スタント ^レ			レギュラーガソリン			
Z4	軽油 パ ^レ トル給油			軽油			
Z							

機 労 材 集 計 表

項番	集計区分	単価コード	単 価 名 称	数量累計	単 位	単 価 値	金 額	
			小型バックホ(クローラ型)					
			小型バックホ(クローラ型)					
			小型バックホ(クローラ型)					
			バックホ(クローラ型)					
			バックホ(クローラ型)					
			トラック					
			モータグレータ					
			振動ロー(舗装用)					
			タンバ及びビラマ					
			振動コンバクタ					
			アスファルトフィニッシャ					
			コンクリートカッタ					
			特殊作業員					
			普通作業員					
			運転手(特殊)					
			運転手(一般)					
			土木一般世話役					
			型わく工					
			交通誘導警備員B					
			砂					県産品有
			粒調碎石					県産品有
			再生切込碎石					県産品有
			生コンクリート					県産品有
			生コンクリート					県産品有
			再生粗粒度アスコン					県産品有
			再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入り)					県産品有
			異形棒鋼 D10					県産品有
			異形棒鋼 D13					県産品有
			一般用硬質塩化ビニル管(VP管)					県産品有
			鉄屑					
			レギュラーガソリン					
			軽油					
			アスファルト乳剤					
			舗装版切断 カッタープレート					
			歩車道境界ブロック A [下水汚泥スラグ入り]					県産品有
			歩車道境界ブロック K [下水汚泥スラグ入り]					県産品有

数 量 総 括 表

工 事 名	市道那波佐方線道路新設工事（第8期）			事業区分	道路橋梁整備事業	
				工事区分	道路改良	
工種・種別・細別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	摘 要
本工事						
道路土工						
	積込（ルーズ）	土砂	700.0	700.0	m ³	残土置場平面図
	土砂等運搬	土砂 DID無し・49.5km以下	700.0	700.0	m ³	残土置場平面図
作業土工						
	床堀	土砂 小規模	38.9	30.0	m ³	作業土工数量集計表
	埋戻	RC-40 小規模	16.9	10.0	m ³	作業土工数量集計表
	土砂等運搬	土砂 小規模	38.9	30.0	m ³	作業土工数量集計表
床版架設工						
	床版架設工	PC床版 3.50*1.20*0.15	1.0	1.0	式	床版架設工数量集計表
	函渠工	PCボックスカルバート 900*600*670/1340	1.0	1.0	式	床版架設工数量集計表
	3号集水柵工	600*1400	1.0	1.0	式	床版架設工数量集計表
排水構造物工						
	プレキャスト街渠	JS-150同等品	39.0	39.0	m	排水構造物工数量集計表
	現場打街渠(2)	NG515K-S	4.9	4.0	m	排水構造物工数量集計表

数 量 総 括 表

工 事 名	市道那波佐方線道路新設工事（第8期）			事業区分	道路橋梁整備事業	
				工事区分	道路改良	
工種・種別・細別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	摘 要
	接続排水管	VP φ 75	0.5	0.5	m	排水構造物工数量集計表
	1号街渠柵	PC柵街渠用	4.0	4.0	箇所	排水構造物工数量集計表
	暗渠排水管	VP φ 150	7.4	7.0	m	排水構造物工数量集計表
構造物撤去工						
	ガードレール撤去工	Gr-C-2B	44.5	44.0	m	構造物撤去工数量集計表
	構造物取壊し工	ガードレール基礎 有筋コンクリート	2.5	2.0	m ³	構造物撤去工数量集計表
	舗装版切断	アスファルト舗装版 t=15cm以下	46.2	46.0	m	構造物撤去工数量集計表
	舗装版破碎積込	アスファルト舗装版 小規模土工	164.0	164.0	m ²	構造物撤去工数量集計表
	殻運搬	有筋コンクリート殻	2.5	2.0	m ³	構造物撤去工数量集計表
		アスファルト殻	8.2	8.0	m ³	構造物撤去工数量集計表
		汚泥	1.0	1.0	台	構造物撤去工数量集計表
	処分費	有筋コンクリート殻	1.0	1.0	式	構造物撤去工数量集計表
		アスファルト殻	1.0	1.0	式	構造物撤去工数量集計表
		汚泥	1.0	1.0	式	構造物撤去工数量集計表
	現場発生品運搬	Gr-C-2B	0.72	0.7	t	構造物撤去工数量集計表

数 量 総 括 表

工 事 名	市道那波佐方線道路新設工事（第8期）			事業区分	道路橋梁整備事業	
				工事区分	道路改良	
工種・種別・細別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	摘 要
舗装準備工						
	不陸整正	車道(補充材なし)	1,560.7	1560.0	m2	舗装工数量集計表
舗装工(車道部)						
	下層路盤	RC-30 t=5cm	1,560.7	1560.0	m2	舗装工数量集計表
	上層路盤	M-30 t=10cm	1,560.7	1560.0	m2	舗装工数量集計表
	基層	再生粗粒度アスコン t=5cm	1,560.7	1560.0	m2	舗装工数量集計表
舗装工(歩道部)						
	フィルター層	砂 t=5cm	120.9	120.0	m2	舗装工数量集計表
	上層路盤	RC-30 t=10cm	125.1	125.0	m2	舗装工数量集計表
	表層	透水性アスコン t=3cm	125.1	125.0	m2	舗装工数量集計表
道路付属施設工						
	1号縁石	歩車道境界ブロック A種 両面R	43.0	43.0	m	道路付属施設工集計表
仮設工						
	仮舗装復旧	表層 t=3cm 不陸整正 補充材有	26.8	26.0	m2	仮設工数量集計表
	交通誘導員		26.0	26.0	人日	仮設工数量集計表

1. 作 業 土 工

作業土工(排水工) 数量計算書

本線

測点	距離	床掘(排水工)						床掘(排水工)					
		土砂			軟岩 I			軟岩 II			0		
		断面積	平均断面積	体積	断面積	平均断面積	体積	断面積	平均断面積	体積	断面積	平均断面積	体積
NO. 13	10.000												
NO. 13 + 13.27	13.270	0.9											
NO. 14	6.730	0.9	0.90	6.1									
NO. 15	20.000	0.4	0.65	13.0									
EP	19.696	0.4	0.40	7.9									
別途単位当り数量より													
1号街渠柵				1.7									
小計	69.696			28.7			0.0			0.0			0.0
合計	312.696			28.7			0.0			0.0			0.0

作業土工 数量計算書

本線

測点	距離	埋戻						埋戻					
		埋戻(W1<1m)			埋戻(1m≦W1<4m)			埋戻コンクリート					
		断面積	平均断面積	体積	断面積	平均断面積	体積	断面積	平均断面積	体積	断面積	平均断面積	体積
NO. 13	10.000												
NO. 13 + 13.27	13.270	0.2											
NO. 14	6.730	0.2	0.20	1.3									
NO. 15	20.000	0.2	0.20	4.0									
EP	19.696	0.2	0.20	3.9									
別途単位当り数量より													
1号街渠柵				0.9									
小計	69.696			10.1			0.0			0.0			0.0
合計	312.696			10.1			0.0			0.0			0.0

2. 床版架設工

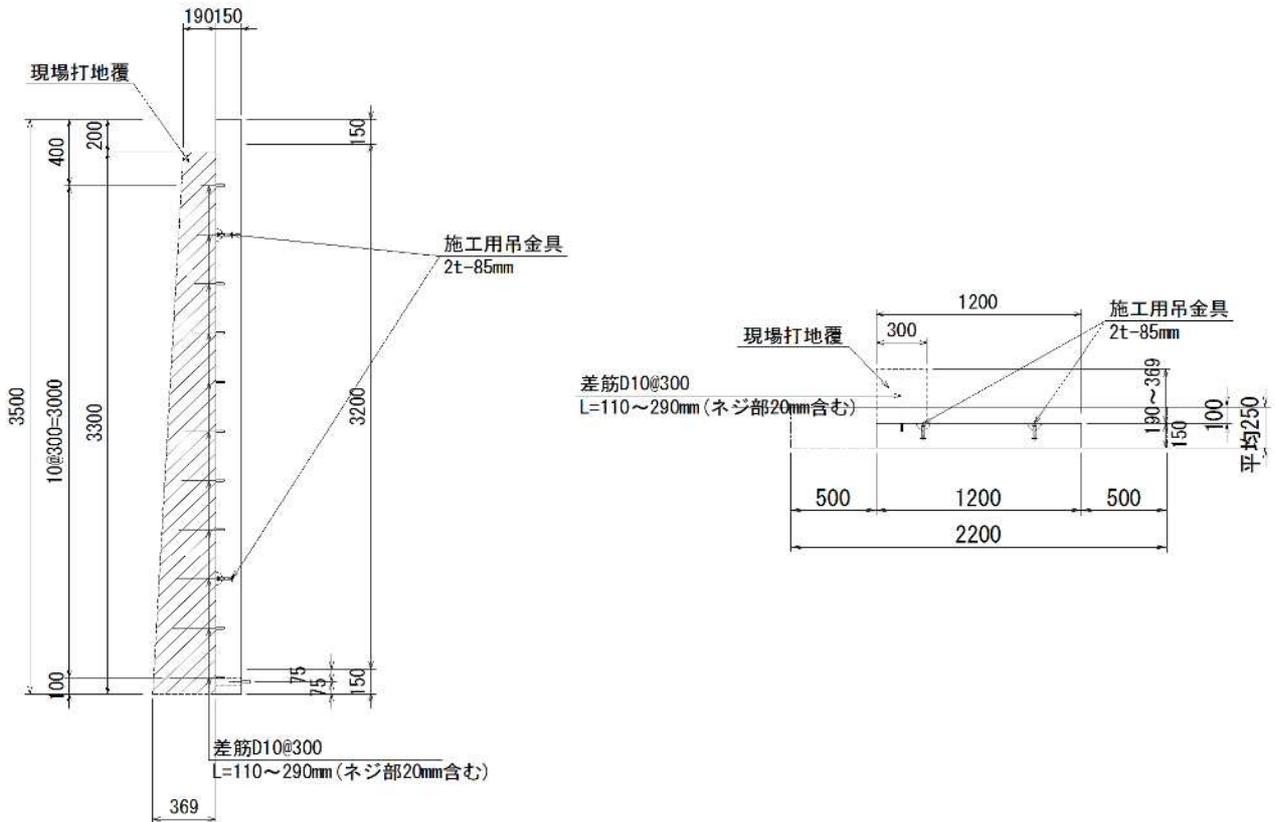
床版架設工数量集計表

工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
床版架設工	作業土工	床掘	土砂	m3	10.2	
		埋戻	小規模	m3	6.8	
	床版架設工			式	1.000	
		プレキャスト床版	3.50x1.20x0.15	個	1.000	
		差筋	D10 SD345	kg	1.120	
		コンクリート	18-12-20BB	m3	0.277	
		型枠		m2	1.848	
	台座工			式	1.000	N=2ヶ所
		コンクリート	18-12-20BB	m3	0.184	
		型枠		m2	1.632	
		基礎材	RC-40 t=20cm	m2	1.008	
		鉄筋	D13 SD345	kg	9.830	
	函渠工			式	1.000	
		プレキャストボックスカルバート	900x600x670/1340	個	1.000	
		敷モルタル		m3	0.035	
		基礎材	RC-40 t=15cm	m2	1.266	
	3号集水柵工			式	1.000	
		コンクリート	18-8-40BB	m3	1.134	
		型枠		m2	10.080	
		基礎材	RC-40 t=20cm	m2	2.090	
		グレーチング蓋	細目：歩道用 600x1400用	枚	1.000	
		足掛金具	D13 L=700	個	3.000	

床版架設工 数量計算書

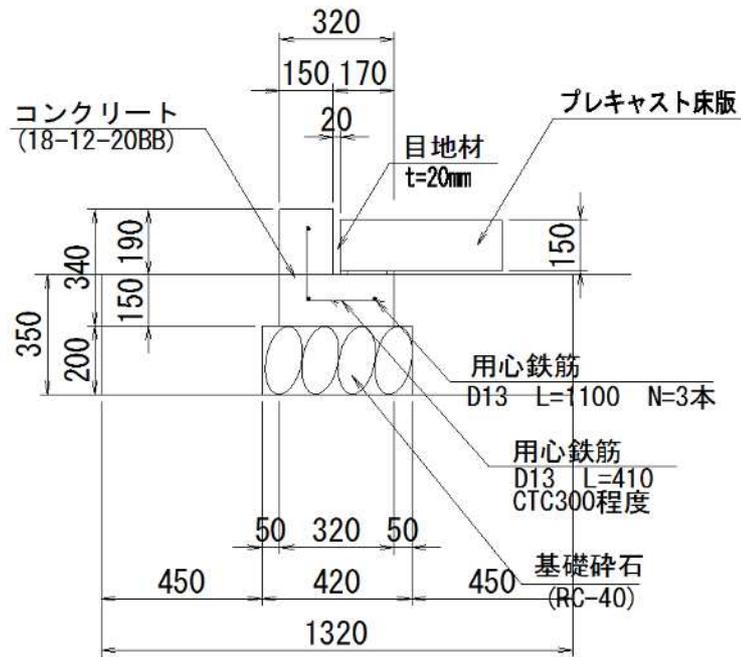
測点	距離	作業土工						作業土工					
		床掘 (土砂)						埋戻					
		断面積	平均断面積	体積	断面積	平均断面積	体積	長さ	平均長さ	体積	断面積	平均断面積	面積
別途計算書にて算出													
床版架設工		別途計算書より		1.9			別途計算書より		1.2				
台座工		別途計算書より		1.1			別途計算書より		0.8				
3号集水柵工		別途計算書より		7.2			別途計算書より		4.8				
合計	0.000	10.2						6.8					

床版架設工 数量計算書



名称	規格	算式	1箇所当り数量	延長	数量
プレキャスト 床版	3.50x1.20x0.15	10./1.5	個 1.000	m	個 1.000
差筋	D10	$L=0.110\sim0.290=0.200$ N=10本 $0.560\times0.200\times10$	kg 1.120	m	kg 1.120
コンクリート	18-12-20BB	$H=0.190\sim0.369=0.280$ (平均) $0.300\times0.280\times3.300$	m ³ 0.277	m	m ³ 0.277
型枠		$0.280\times2\times3.300$	m ² 1.848	m	m ² 1.848
作業土工 床掘		$2.20\times0.25\times3.50$	m ³ 1.93	m	m ³ 1.93
埋戻し		$1.93-$ $(1.20\times0.15+0.30\times0.10)\times3.50$	m ³ 1.20		m ³ 1.20

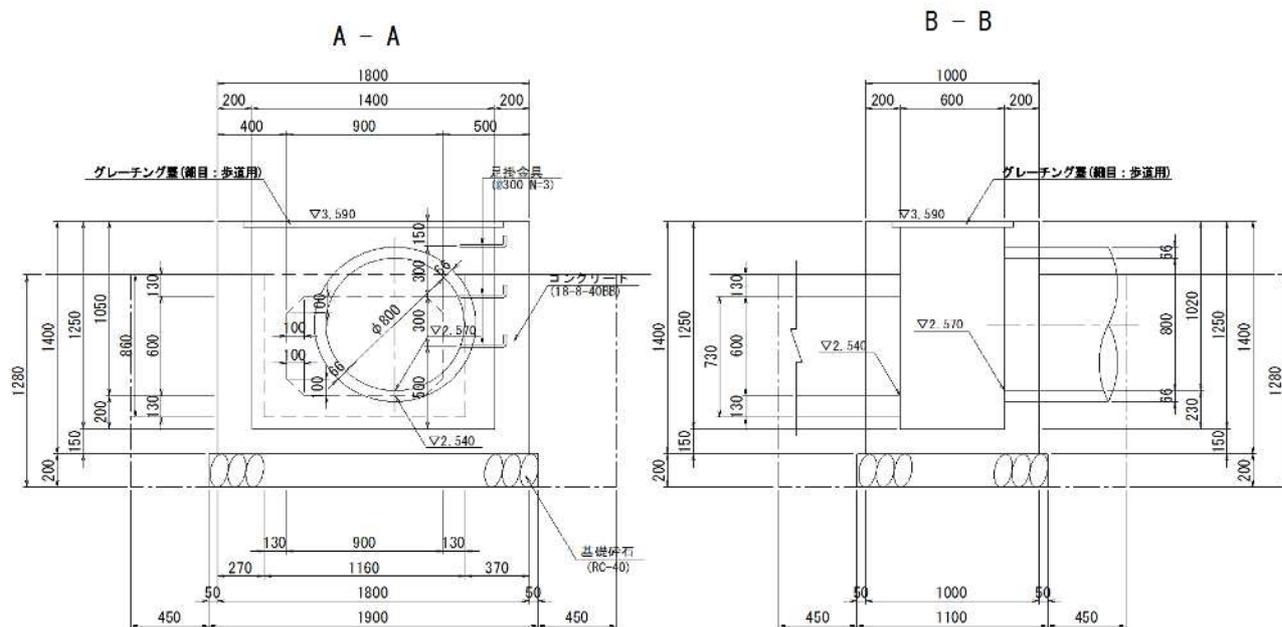
台座工 数量計算書



L=1.20m N=2箇所

名称	規格	算式	1箇所当り数量	延長	数量
コンクリート	18-12-20BB	$(0.320 \times 0.150 + 0.150 \times 0.190) \times 1.20$	m ³ 0.092	箇所 2.0	m ³ 0.184
型枠		$0.340 \times 2 \times 1.20$	m ² 0.816	箇所 2.0	m ² 1.632
基礎材	RC-40 t=20cm	0.420×1.20	m ² 0.504	箇所 2.0	m ² 1.008
鉄筋	D13 SD345	N=1.10/0.30=3.67 → 4本 $(1.100 \times 3 + 0.410 \times 4) \times 0.995$	kg 4.915	箇所 2.0	kg 9.830
作業土工					
床掘		$1.32 \times 0.35 \times 1.20$	m ³ 0.554	箇所 2.0	m ³ 1.108
埋戻し		$0.554 - (0.42 \times 0.20 + 0.32 \times 0.15) \times 1.20$	m ³ 0.396	箇所 2.0	m ³ 0.792

3号集水桝工 数量計算書



名称	規格	算式	1箇所当り数量	延長	数量
コンクリート	18-8-40BB	$1.80 \times 1.0 \times 1.40 - 1.40 \times 0.60 \times 1.25$ $- 1.16 \times 0.86 \times 0.20$ $- \pi \times 0.932^2 / 4 \times 0.20$	1.134	1.0	1.134
型枠		$(1.80 + 1.00 + 1.40 + 0.60) \times 2 \times 1.40$ $- 1.16 \times 0.86 \times 2$ $- \pi \times 0.932^2 / 4 \times 2$	10.080	1.0	10.080
基礎材	RC-40 t=20cm	1.90×1.10	2.090	1.0	2.090
グレーチング蓋	細目：歩道用 600 x 1400用		1.000	1.0	1.000
足掛金具	D13 L=700		3.000	1.0	3.000
作業土工					
床掘		$2.80 \times 2.00 \times 1.28$	7.168	1.0	7.168
埋戻し		$7.168 - (1.90 \times 1.10 \times 0.20 +$ $+ 1.80 \times 1.00 \times 1.08)$	4.806	1.0	4.806

3. 排水構造物工

NG515K-S
現場打街渠(2)

延長調書

測 点		延 長		控除延長		実延長
		左 側	右 側	柵箇所	控除延長	
NO. 12 + 18.24	~ NO. 13 + 6.16					0.0
NO. 13 + 13.27	~ NO. 13 + 16.26		4.9			4.9
合 計						4.9

VP φ 150

延長調書

測 点			延 長		摘 要
NO. 1 + 17.00	~	NO. 12 + 17.74			プレキャスト街渠
NO. 13 + 16.76	~	NO. 15 + 18.76	1.37+1.78+2.17+2.10=	7.4	〃
合 計				7.4	

VPφ75

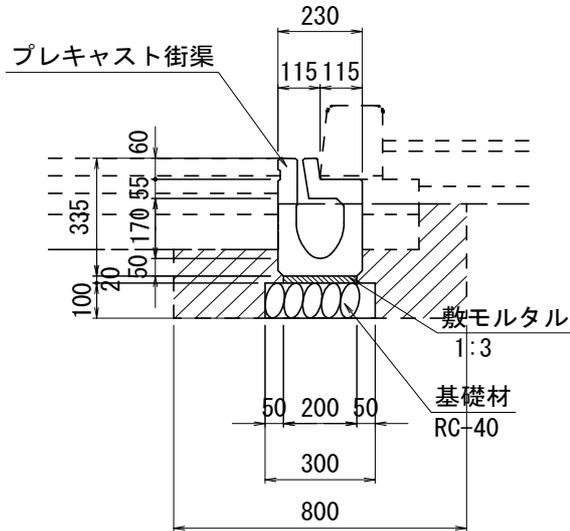
延長調書

測 点			延 長		摘 要
			左 側	右 側	
NO. 13 +	5.93				NG515K-S
NO. 13 +	16.20			0.5	〃
小 計			0.0	0.5	
合 計				0.5	

測 点			箇 所		摘 要
			左 側	右 側	
NO. 1 +	17.00				(軟岩Ⅱ)
NO. 3 +	2.68				(軟岩Ⅰ)
NO. 4 +	8.45				(軟岩Ⅱ)
NO. 5 +	15.55				(軟岩Ⅱ)
NO. 6 +	16.00				(軟岩Ⅱ)
NO. 7 +	17.60				(軟岩Ⅱ)
NO. 8 +	19.58				(軟岩Ⅱ)
NO. 10 +	1.42				(軟岩Ⅱ)
NO. 11 +	2.38				(軟岩Ⅱ)
NO. 12 +	2.54				(土砂)
NO. 12 +	17.74				(土砂)
NO. 13 +	16.76			1	(土砂)
NO. 14 +	10.76			1	(土砂)
NO. 15 +	4.76			1	(土砂)
NO. 15 +	18.76			1	(土砂)
				(4)	(土砂)
				(0)	(軟岩Ⅰ)
				(0)	(軟岩Ⅱ)
小 計				0	4
合 計					4

プレキャスト街渠 数量計算書

※作業土工（土砂）



床掘（土砂）=0.22

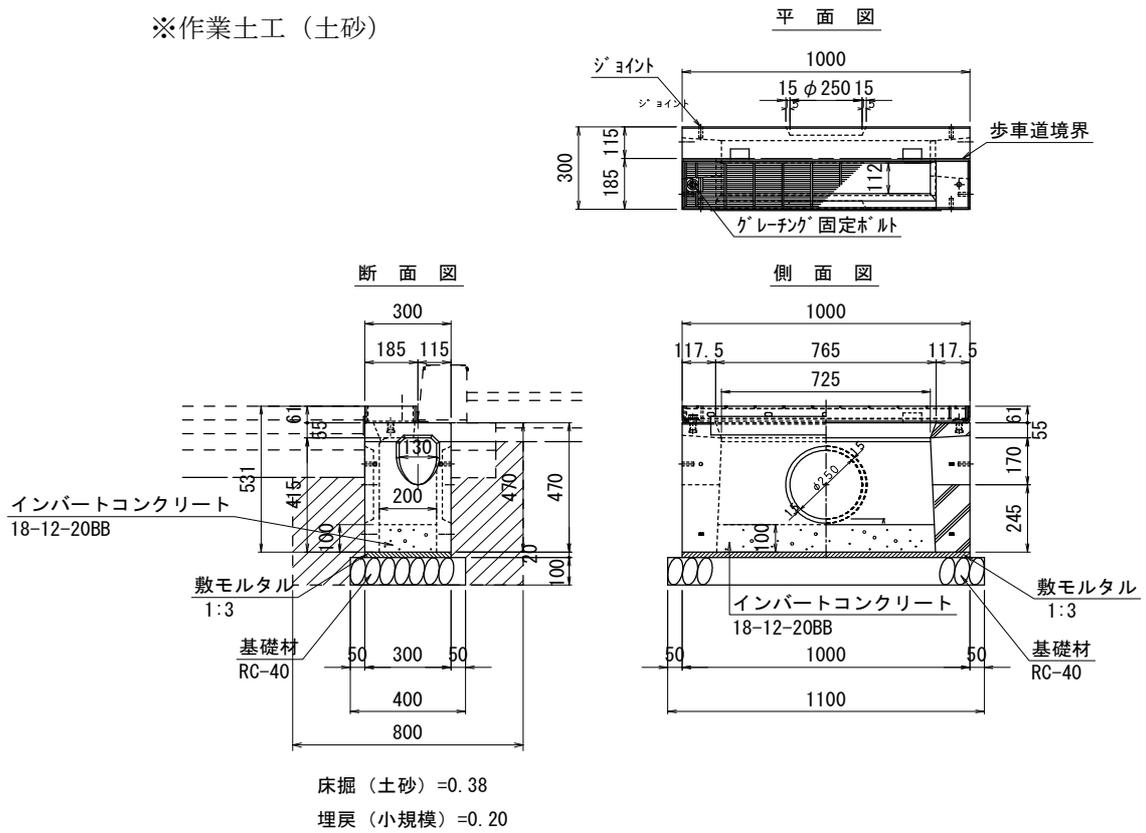
埋戻（小規模）=0.12

(注) 作業土工は横断数量にて計上のこと

名称	規格	算式	10m当り数量	延長	数量
プレキャスト街渠	都市型街渠 150型	10.00/2.00	個 5.0	m	
敷モルタル	1:3	0.20*0.02*10.00	m ³ 0.04		
基礎材	RC-40 t=100	0.30*10.00	m ² 3.0		
床掘	土砂	0.22*10.00	m ³ 2.2	m 39.0	8.6
埋戻	小規模	0.12*10.00	m ³ 1.2	39.0	4.7

1号街渠柵 数量計算書

※作業土工（土砂）



N= 4

名称	規格	算式	10箇所当り数量	箇所	数量
プレキャスト柵	プレキャスト街渠用		個	箇所	
			10.0	4	4.0
敷モルタル	1:3	$0.30 \times 1.00 \times 0.02 \times 10$	m ³		
			0.06	4	0.02
基礎材	RC-40 t=100	$0.40 \times 1.10 \times 10$	m ²		
			4.4	4	1.8
インバート コンクリート	18-12-20BB	$0.20 \times 0.765 \times 0.10 \times 10$	m ³		
			0.15	4	0.06
床掘り	土砂	$0.38 \times 1.10 \times 10$	m ³	箇所	
			4.2	4	1.7
埋戻し	小規模	$0.20 \times 1.10 \times 10$	m ³		
			2.2	4	0.9

4. 構造物撤去工

取壊し土工 数量計算書

本線

測点	距離	構造物取壊し工											
		アスファルト取壊し											
		長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積
NO. 12 + 10.0	10.000												
NO. 13	10.000												
NO. 13 + 10.0	10.000												
NO. 13 + 13.5	3.500	0.0											
NO. 13 + 16.5	3.000	4.2	2.10	6.3									
NO. 14	3.500	4.2	4.20	14.7									
NO. 15	20.000	3.4	3.80	76.0									
EP	19.696	3.4	3.40	67.0									
小計	79.696			164.0			0.0			0.0			0.0
合計	312.696			164.0			0.0			0.0			0.0

測 点			延 長		摘 要
			左 側	右 側	
取合い道C付近	～	NO. 13 + 3.60			
NO. 13 + 14.80	～	NO. 15 + 19.30	44.5		
NO. 12 + 0.00	～	NO. 13 + 1.50			
小 計			44.5	0.0	
合 計			44.5		

5. 舗装工

舗装工 数量計算書

本線

測点	距離	不陸整正											
		車道（補充材有り）			車道（補充材無し）			歩道					
		長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積
NO. 0 + 7.00													
NO. 1	13.000				10.48								
NO. 2	20.000				8.88	9.680	193.60						
NO. 3	20.000				8.88	8.880	177.60						
NO. 3 + 2.00	2.000				8.88	8.880	17.76						
NO. 3 + 14.50	12.500				8.88	8.880	111.00						
NO. 4	5.500				8.88	8.880	48.84						
NO. 4 + 10.00	10.000				8.49	8.685	86.85						
NO. 5	10.000				8.06	8.275	82.75						
NO. 5 + 10.00	10.000				7.64	7.850	78.50						
NO. 6	10.000				7.55	7.595	75.95						
NO. 6 + 10.00	10.000				7.97	7.760	77.60						
NO. 7	10.000				8.40	8.185	81.85						
KE. 2-1	11.329				8.88	8.640	97.88						
NO. 8	8.671				8.88	8.880	77.00						
NO. 8 + 10.00	10.000				8.88	8.880	88.80						
NO. 9	10.000				8.88	8.880	88.80						
NO. 10	20.000				8.71	8.795	175.90						
NO. 11	20.000												
KA. 2-2	11.202												
小計	224.202			0.0		1560.68			0.0				0.0

車道舗装工 数量計算書

本線

測点	距離	表層・基層（排水性）1.4m≦W						表層（普通）1.4m≦W					
		t=50(表層)			t=50(基層)			t=50(表層)					
		長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積
NO.0 + 7.0													
NO.1	13.000				10.48								
NO.2	20.000				8.88	9.680	193.60						
NO.3	20.000				8.88	8.880	177.60						
NO.4	20.000				8.88	8.880	177.60						
NO.4 + 10.0	10.000				8.49	8.685	86.85						
NO.5	10.000				8.06	8.275	82.75						
NO.5 + 10.0	10.000				7.64	7.850	78.50						
NO.6	10.000				7.55	7.595	75.95						
NO.6 + 10.0	10.000				7.97	7.760	77.60						
NO.7	10.000				8.40	8.185	81.85						
KE.2-1	11.329				8.88	8.640	97.88						
NO.8	8.671				8.88	8.880	77.00						
NO.8 + 10.0	10.000				8.88	8.880	88.80						
NO.9	10.000				8.88	8.880	88.80						
NO.10	20.000				8.71	8.795	175.90						
NO.11	20.000												
KA.2-2	11.202												
NO.12	8.798												
NO.12 + 10.0	10.000												
小計	243.000			0.00		1560.68			0.00				0.00

車道舗装工 数量計算書

本線

測点	距離	上層路盤（普通）1.4m≦W						下層路盤（普通）1.4m≦W			下層路盤（普通）1.4m≦W		
		t=100						平均 t= 50			t=100		
		長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積
NO.0 + 7.0													
NO.1	13.000	10.48						10.48					
NO.2	20.000	8.88	9.680	193.60				8.88	9.680	193.60			
NO.3	20.000	8.88	8.880	177.60				8.88	8.880	177.60			
NO.4	20.000	8.88	8.880	177.60				8.88	8.880	177.60			
NO.4 + 10.0	10.000	8.49	8.685	86.85				8.49	8.685	86.85			
NO.5	10.000	8.06	8.275	82.75				8.06	8.275	82.75			
NO.5 + 10.0	10.000	7.64	7.850	78.50				7.64	7.850	78.50			
NO.6	10.000	7.55	7.595	75.95				7.55	7.595	75.95			
NO.6 + 10.0	10.000	7.97	7.760	77.60				7.97	7.760	77.60			
NO.7	10.000	8.40	8.185	81.85				8.40	8.185	81.85			
KE.2-1	11.329	8.88	8.640	97.88				8.88	8.640	97.88			
NO.8	8.671	8.88	8.880	77.00				8.88	8.880	77.00			
NO.8 + 10.0	10.000	8.88	8.880	88.80				8.88	8.880	88.80			
NO.9	10.000	8.88	8.880	88.80				8.88	8.880	88.80			
NO.10	20.000	8.71	8.795	175.90				8.71	8.795	175.90			
NO.11	20.000												
KA.2-2	11.202												
NO.12	8.798												
NO.12 + 10.0	10.000												
小計	243.000	1560.68			0.00			1560.68			0.00		

歩道舗装工 数量計算書

本線

測点	距離	表層 (右)						路盤・フィルター層 (右)					
		t=30						路盤 t=100			フィルター層 t=50		
		長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積
NO. 13	10.000												
NO. 13 + 7.0	7.000												
NO. 13 + 10.0	3.000												
NO. 13 + 13.5	3.500	0.00					0.00			0.00			
NO. 13 + 16.5	3.000	3.35	1.675	5.03			3.35	1.675	5.03	3.35	1.675	5.03	
NO. 14	3.500	3.35	3.350	11.73			3.35	3.350	11.73	3.25	3.300	11.55	
NO. 15	20.000	2.52	2.935	58.70			2.52	2.935	58.70	2.42	2.835	56.70	
EP	19.696	2.52	2.520	49.63			2.52	2.520	49.63	2.42	2.420	47.66	
小計	69.696			125.09			0.00			125.09			120.94
合計	312.696			125.09			0.00			125.09			120.94

6. 道路付属施設工

1号縁石

延長調書

測 点			延 長		摘 要
			左 側	右 側	
NO. 1 + 0.00	~	NO. 12 + 18.24			
NO. 13 + 16.26	~	NO. 15 + 19.26		43.0	
小 計			0.0	43.0	
合 計				43.0	

7. 仮設工

仮設舗装工 数量計算書

本線

測点	距離	車道部						0					
		不陸修正 (補充材t=3cm)			表層 (t=3cm)			0			0		
		長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積
NO. 13	10.000												
NO. 13 + 7.0	7.000												
NO. 13 + 10.0	3.000												
NO. 13 + 13.5	3.500	0.00			0.00								
NO. 13 + 16.5	3.000	0.30	0.150	0.45	0.60	0.300	0.90						
NO. 14	3.500	0.30	0.300	1.05	0.60	0.600	2.10						
NO. 15	20.000	0.30	0.300	6.00	0.60	0.600	12.00						
EP	19.696	0.30	0.300	5.91	0.60	0.600	11.82						
合計				13.41			26.82			0.00			0.00

特記仕様書

この仕様書は、下記の工事の施工に適用する。

工事名 : 市道那波佐方線道路新設工事（第8期）

工事場所 : 相生市 那波 地内

総 則

第 1 条 適用する図書

本工事の施工にあたっては、「設計図書」によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によらなければならない。

土木工事共通仕様書 [令和6年4月一部改訂] (兵庫県県土整備部)

土木工事施工管理基準 [令和5年10月一部改訂] (兵庫県県土整備部)

土木工事請負必携 [令和6年4月一部改訂] (兵庫県県土整備部)

小型構造物標準図集 [令和7年4月一部改訂] (兵庫県県土整備部)

第 2 条 契約工期

本工事は、諸手続き完了後に繰越予定であり竣工期限を「令和8年9月30日限り」に変更する予定である。

契約工期については、土・日曜日、祝日、年末年始休暇等を含んでいる。

第 3 条 特定建設作業の届出

騒音規制法、振動規制法及び環境の保全と創造に関する条例による特定建設作業を行うときは、特定建設作業実施届出書を提出しその写しを監督員に提出しなければならない。

第 4 条 コリンズ (CORINS) への登録

請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。

なお、変更時と工事完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

第5条 現場の管理

- 1 本工事の施工にあたっては、建設業法及び労働保険徴収法の規定により建設業の許可票及び労災保険関係成立票を現場内に掲示しなければならない。

建設業の許可票			
商号又は名称			
代表者の氏名			
監理主任	技術者の氏名	専任の有無	
	資格者	資格者証 交付番号	
一般建設業又は 特定建設業の別			
許可を受けた建設業			
許可番号			
許可年月日		令和 年 月 日	

労災保険関係成立票	
保険関係成立年月日	
労働保険番号	
工事期間	自 令和 年 月 日
	至 令和 年 月 日
事業主の住所氏名	
注文者の氏名	
事業主代理人の氏名	

2 請負者は、建設業法施行規則第14条の2第2項に基づく添付書類を施行体制台帳とともに監督員に提出するものとする。

第7条 建設廃棄物の処理

1 本工事は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な処置を講ずることとする。

1) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻（有筋）	山陽設備工業(株)	たつの市揖保町揖保中字柳原347他2筆
アスファルト殻（掘削）	(株)金海興業	相生市竜泉町315番1外8筆

上表については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

受注者は、兵庫県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

2 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告するものとする。

なお、書面は再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

3 工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

第 8 条 処分量の検収

1 特定建設資材等産業廃棄物の処理にあたっては、原則として再資源化施設に搬出するものとし、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を持つ計量器を有する処理業者に委託し、兵庫県のマニフェストシステム実施要領に従って処理するものとする。

請負者は、処分が完了した後、処理業者が検収したマニフェスト票（D票及びE票）の写しを監督員に提出すること。

なお、これにより難い場合は、監督員と協議し承諾をうけるものとする。

（原則として設計計上数量を限度とし、上記検収数量が設計数量に満たない場合は変更の対象とする。）

2 請負者は、産業廃棄物の処理にあたり、処理一覧表〔種類、日付、車両番号、処分量、処理施設〕を作成し、搬出、搬入、処理施設の処理状況を写真記録し監督員に報告するものとする。

ただし、処理状況写真については、報告が工事竣工後となってもやむを得ないものとする。

第 9 条 建設副産物対策

「兵庫県における建設リサイクル行動計画」（平成10年6月策定）の推進を図るため、「再生資源の利用促進に関する法律（リサイクル法）」（平成3年10月）に基づく「再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）」を作成し提出するものとする。

- ・工事着手時 : 再生資源利用〔促進〕計画書
- ・工事完成時 : 再生資源利用〔促進〕実施書

第 10 条 建設発生土の処理

1 建設発生土は、「建設副産物適正処理推進要綱」に基づき、適正な処置を講ずるものとする。

本工事の建設発生土の処理については、赤穂市施行の公共事業地へ盛土材として搬出予定である。搬出時期は5月から6月を予定しているが、搬出の期間は監督員の指示によるものとする。

1) 建設発生土の処理施設の名称及び所在地

廃棄物の種類	施設の名称	所在地
建設発生土	指定処分地	相生市 那波 地内
建設発生土	赤穂市区画整理事業地	赤穂市北野中397-163付近

2 検収の方法は、伝票または出来形展開図とする。

請負者は、建設発生土の処理にあたり、処理一覧表〔種類、日付、車両番号、処分量、処理施設〕を作成し、搬出、搬入、処理施設の処理状況を写真記録し監督員に報告するものとする。

ただし、処理状況写真については、報告が工事竣工後となってもやむを得ないものとする。

第 11 条 交通誘導員の配置

1 交通整理員について、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に差違が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。なお、警備日報と集計表を監督員に提出しなければならない。

配置場所	交通誘導員	編成	昼夜別	交替要員の有無
相生市 那波 地内	25 名/日	交通誘導員B 1～3人	昼	無

なお、交通誘導員A、Bの定義はつぎのとおり。

交通誘導員A： 警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B： 警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

2 交通誘導員の有資格

資格	資格要件
1・2級交通誘導警備検定合格者	公安委員会が学科及び実技試験を行って、交通誘導警備に関して専門的な知識及び技能を有すると認めた者。
交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員	<ul style="list-style-type: none"> ・警備業法における警備員指導教育責任者資格者証の交付を受けている者。 ・警備業法における指定講習を修了した者。 ・警備業法施行規則における基本教育及び業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を既に受けている者で、交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上である者。

3 請負者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証（写し）を監督員に提出するものとする。

4 請負者は、交通誘導員として交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料の何れかを監督員に提出するものとする。

- ・警備員指導教育責任者資格者証（写し）
- ・指定講習終了証明書（写し）
- ・警備業法施行規則 第26条第2項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類。

第12条 関係機関との調整

請負者は、工事の施工に際して地元自治会ほか関係機関との調整を十分に図り工事施工計画等について、工事説明会の開催や工事説明通知文書を配布するなど理解を求めること。

第 13 条 再生砕石の適用

「下層路盤材」、「歩道路盤材」及び土木構造物の基礎砕石並びに裏込砕石に使用する材料は、下記の品質規格を満足するものとし、乙は施工にあたって、事前に使用する再生切込砕石生産者名及び最近の試験結果を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。

再生切込砕石の品質基準は、次表のとおりとする。

修正 C B R (%)	P I (塑性指数)	すりへり減量	粒 度
3 0 以上	6 以下	5 0 以下	再生切込砕石の粒度範囲に入ること

再生切込砕石にアスファルトコンクリート再生骨材を混合する場合は、混合割合を 6 0 % 以下とすること。

本工事に使用する再生砕石は、再生切込砕石（4 0 ～ 0 mm 又は 3 0 ～ 0 mm）とする。なお、生産者業者の都合により再生切込砕石の供給支障がある場合は、監督員と協議し指示を受けること。

第 14 条 下層路盤材

アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込砕石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比 6 0 % 以下とする。

ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを 3 0 % 以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。

なお、生産者の都合により再生切込砕石の供給に支障がある場合は、監督員と協議のうえ、新材切込砕石に変更することとし、設計変更の対象とする。

第 15 条 アスファルト混合物

- 1 請負者は、アスファルト合材配合統一用紙を提出した加熱アスファルト混合物を使用する場合は、アスファルト混合物設計総括表アスファルト混合物設計のバックデータ及び使用材料の試験成績表の写しを監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
- 2 請負者は、アスファルト混合物事前審査委員会が認定した加熱アスファルト混合物を使用する場合は、事前審査制度認定書（認定書、混合物総括表）の写しを監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

3 アスファルト合材配合統一用紙を提出した混合物又はアスファルト混合物事前審査制度認定混合物を使用する場合は、土木工事共通仕様書によらず、アスファルト混合物及びその材料に関する品質証明書、試験成績表の提出並びに配合設計、試験練りを省略することができる。

4 配合統一用紙又は事前審査制度認定書による場合の「品質管理基準」は、以下のとおりとする。

工種	種別	試験区分	試験項目	試験基準	
				配合統一用紙	事前審査制度認定書
ア ス フ ア ル ト 舗 装	材 料	必須	塑性変形輪数	混合所自主管理 ※1	混合所自主管理 ※1
			土木施工管理基準 「品質管理基準の全項目」	配合統一用紙提出	事前審査制度認定書提出
	プラ ン ト	必須	土木施工管理基準 「品質管理基準の全項目」		
			配合試験	配合統一用紙提出	事前審査制度認定書提出
	混合物のアスファルト量抽出	混合所自主管理 ※1	混合所自主管理 ※1		
	混合物の粒度分析試験			混合所自主管理 ※1	混合所自主管理 ※1
温度測定（混合物）	混合所自主管理 ※1	混合所自主管理 ※1			
基準密度の決定			配合統一用紙提出	事前審査制度認定書提出	

※1 監督員から指示があった場合は、試験結果を提出するものとする。

第 16 条 下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物

- 1 本工事における再生密粒度アスファルト混合物（TOP13）は下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物（以下「下水汚泥スラグアスファルト混合物」という。）の使用を原則とする。ただし、材料の調達が困難な場合は通常の再生密粒度アスファルト混合物の使用を妨げない。なお、この場合、事前に発注者の了解を得ることとする。
- 2 上記については設計変更の対象とはしない。
- 3 下水汚泥スラグアスファルト混合物における材料の試験成績表や品質証明書の提出、配合設計及び試験練等については、土木工事共通仕様書によるものとする。
- 4 下水汚泥溶融スラグ及び下水汚泥スラグアスファルト混合物の品質は「下水汚泥溶融スラグの品質基準」、「下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物の品質基準」を満たすものとする。

第 17 条 排出ガス対策型建設機械の使用

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設機械技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、請負者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式、溶接兼用機含） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの。 ：油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ロードローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw 以上、260kw以下）を搭載した建設機械</p>

第 18 条 安全管理

1 安全・訓練等の実施

本工事施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により1月当たり半日以上時間を割当て、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施すること。

- (1)安全活動の動画等視覚資料による安全教育
- (2)本工事内容等の周知徹底
- (3)土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- (4)本工事における災害対策訓練
- (5)本工事現場で予想される事故対策
- (6)その他、安全・訓練等として必要な事項

2 安全訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画書を作成し、監督員に提出すること。

3 安全訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況を工事報告（工事月報）に記載し報告すること。

第 19 条 レディーミクストコンクリート

1 請負者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合には、J I Sマーク表示認定工場で、かつ、コンクリートの製造、施工試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技師等）が常駐しており、配合設計及び品質管理などを適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議：全国統一品質管理監査制度（品監）の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場）（以下、「監査合格工場」という。）から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いなければならない。これにより難しい場合は、本条2項の規定によるものとする。

2 請負者は、本条1項により難しい場合は、J I Sマーク表示認定工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技師等）が常駐しており、配合設計及び品質管理を適切に実施できる工場から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いなければならない。これにより難しい場合は、本条4、5項の規定によるものとする。

なお、請負者は監査合格工場が工事現場近くに見当たるものの、該当する監査合格工場の出荷能力等の制約から調達ができない場合は、該当する監査合格工場からの調達が不可能である理由について記述した書面（以下、「監査合格工場からの調達不可能理由書」という。）を提出し、監督職員の確認を得なければならない。

また、請負者は、監査合格工場が工事現場近くに見当たらない場合は、最寄りの監査合格工場からの運搬経路等を示す等、監査合格工場が工事現場近くに見あたらないことを証する書面（以下、「監査合格工場不在書」という。）を提出し、監督職員の確認を得なければならない。

3 請負者は、JISマーク表示認定工場で製造されJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）により粗骨材の最大寸法、空気量、スランプ及び呼び強度等が指定されるレディーミクストコンクリートについては、必要に応じて配合に臨場するとともに製造会社の材料試験結果、配合の決定や品質管理などに関する確認資料を整備・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

なお、配合に臨場する場合の頻度等については、表20-1のとおりとする。

4 請負者は、本条2項により難しい場合は、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られること及び該当工場の配合設計及び品質管理などについて確認の上、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。

なお、請負者は、必要に応じ「監査合格工場からの調達不可能理由書」「監査合格工場不在書」について提出し、監督職員の確認を得なければならない。

また、請負者は、J I Sマーク表示認定工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技師等）が常駐しており、配合設計及び品質管理を適切に実施できる工場J I Sマーク表示認定工場が工事現場近くに見当たるものの、該当するJ I Sマーク表示認定工場の出荷能力等の制約から調達がかなわない場合は、該当するJ I Sマーク表示認定工場からの調達が不可能である理由について記述した書面（以下、「J I Sマーク表示認定工場からの調達不可能理由書」という。）を提出し、監督職員の確認を得なければならない。

5 請負者は、JISマーク表示認定工場でない工場で製造したレディーミクストコンクリートを用いる場合、JISマーク表示認定工場であってもJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合、JISマーク表示認定工場であるが、監査合格工場以外の工場で製造したJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）を用いる場合には、設計図書及び土木工事共通仕様書「第1編5-3-3配合及び5-3-4材料の計量の規定」によるとともに、必要に応じて配合に臨場し、製造会社の材料試験結果、配合の決定や品質管理などのマネジメントに関する確認資料により監督職員の確認を得なければならない。

また、請負者は、レディーミクストコンクリートの打設時には、必要に応じて当該工事の主任技術者又は監理技術者か、コンクリート主任技師又はコンクリート技士の資格を有する技術者（以下、「有資格者等」という。）を立会させねばならない。

なお、配合に臨場する場合の頻度等については、表20-1のとおりとする。

6 請負者は、レディーミクストコンクリートの打設に関し、表20-3に定める練混ぜから打設完了までに要した時間の確認ができる記録資料（以下、「打設状況報告書」という。）を作成・整備・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

7 請負者は、レディーミクストコンクリートの品質を確かめるための検査をJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）により実施しなければならない。なお生産者等に検査のための試験を代行させる場合は請負者がその試験に臨場しなければならない。

また現場練りコンクリートについても、これに準ずるものとする。

第 20 条 不正軽油の使用の禁止

- 1 請負者は、工事の施工にあたり、使用する車輛及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
- 2 請負者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

第 21 条 事前調査測量

本工事施工にあたり、請負者は工事着工前に事前調査測量を実施し、その成果を速やかに監督員に提出しなければならない。

第 22 条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

1 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき下表の分類により、適正に処理すること

表 産業廃棄物の分類

区分	工法	
	濁水が生じる工法（湿式）	濁水が生じない工法（空冷式 等）
排出形態	濁水※1	粉体
産業廃棄物の分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥＋廃アルカリ混合物」（※1 乾燥させた場合も同様）	「がれき類」※2 （※2 政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部に確認のこと）

2 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法（湿式）を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥＋廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記①～③のとおりとする。

① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

<収集方法（例）>

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械（バキューム式）による収集
- ・工業用掃除機による収集

・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集 等

② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH12.5 以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

3 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法（空冷式等）を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

4 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。①濁水量は実施数量（マニフェストで確認）に応じて設計変更を行う。

- ①濁水量 0.5 t未満
- ②運搬費 普通トラック運搬 (2 t)
- ③処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」	榑赤穂リサイクルセンター	11.7km	赤穂市加里屋1250-1	土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表は、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

第 23 条 熱中症対策

- 1 本工事施工に先立ち作成する施工計画書に、「**熱中症の早期発見のための体制整備**」「**熱中症の重篤化を防止するための処置**」の実施要領を作成し監督員に提出すること。また、関係作業員への周知を行うものとする。

第 24 条 その他

- 1 本工事施工にあたり、現場代理人は携帯電話等を常時携帯し、絶えず連絡が出来る体制をとるものとする。
- 2 請負者は、工事期間中において工事場所周辺道路等の維持管理を適切に行い付近住民等から苦情等がないよう最善の努力をするものとする。
- 3 工事着手前には必ず現地踏査・現地測量を行い、設計との照査を行い測量・施工計画書・材料確認の必要書類を監督員に提出し了解を得なければならない。尚、着工前の設計照査・地元要望等により設計変更が生じる場合は必ず監督員と協議を行うこと。
この時、変更設計図面・数量表は請負者において作成するものとする。
- 4 請負者は、本工事に伴う提出書類を土木工事請負必携のほか、「土木工事提出書類一覧表」により該当する項目について整理を行い提出しなければならない。
- 5 請負者は、本工事の施工に際して、第三者災害に対する保険（土木工事保険等）に加入し、その写しを速やかに監督員に提出しなければならない。
- 6 請負者は、本工事の施工に際して、その工事に携わる下請の事業主と労働者の意識の向上を図るため、現場事務所や工事現場の出入口など見易い場所に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示するものとする。

- 7 請負者は、本工事の施工に際して、労働基準法第104条の2（労働基準法施行規則第57条）労働基準法の適用事業となったとき（業種を問わず労働者を使用するに至ったとき）に、所轄労働基準監督署長に適用事業報告をしなければならない。
- 8 請負者は、本工事に関する支障物件（電柱や地下埋設物など）の移転の時期等を監督員と協議するとともに関係機関と調整するものとする。
- 9 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならず、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示するものとする。
- 10 本工事の進入路は、兵庫県道（工事中を含む）及び個人地を通行する箇所があるため、協議・調整を十分に行い、監督員に報告すること。借地料や整備費用等が生じる場合は変更対象とし、事前に監督員と協議を行い施工すること。
- 11 掘削時において、雨水排水を考慮し、濁水が直接、下流へ流れないように工夫すること。
- 12 本工事期間中、同一箇所にて相生市発注の次期工事を予定しているため、進入路に限られることから請負業者間での連絡調整を密に行うこと。
- 13 兵庫県が施工する県道竜泉那波線道路新設事業について、供用開始を令和8年度と予定しており、市道那波佐方線についても同時供用開始とする必要があるため、請負者は工期を遵守する外工期の短縮に努めること。

第 25 条 特定外来生物の駆除について

- 1 工事着手前に工事区域内において、測量、現地踏査等を行った際に、以下に示す特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。

特定外来生物の種類：

アルテルナンテラ・フィロクセロイデス(ナガエツルノケイトリ)、ヒステリア・ストラティオテス(ホトウキサ)、アゾラ・クリスタ、コレオプシス・ランケオラタ(オキシゲイク)、ギムノロニス・スピラントイデス(ミズヒマリ)、ルトベギア・ラキニアタ(オハコソウ)、セネシオ・マダガスカリエンシス(ナルサリグ)、スイキョオス・アングラトリス(アレチウリ)、ミュリオフィルム・アクアティクム(オオサモ)、ルトウイギア・グランディフロラ(オハナミズキンバイ等)、ウエロニカ・アナカルリス・アクアティカ(オカワシヤ)、の植物11種（写真参照。詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<http://www.env.go.jp/nature/intro/loutline/list/#sho>

を参照。）

(2) 特定外来生物の生育が確認され防除を行う場合、別紙の対応フローに基づき適正な処理を行うこと。なお、施工計画書にその処分・運搬方法等について記載すること。

- 2 特定外来生物の生育が確認され防除を行う場合、別紙の対応フローに基づき適正な処理を行うこと。なお、施工計画書にその処分・運搬方法等について記載すること。

第 26 条 疑義

本件特記仕様書に疑義が生じた場合は、発注者、請負者で協議し解決するものとする。

<参考写真>



ナガエツルノダイオウ



ポタンウキクサ



アノラ・クリスタ



オオキンケイギク



ミズヒマワリ



オオハンゴンソウ



ナルトサワギク



アレチウリ



オオフサモ



オオバナミズキンバイ



オオカワヂシャ

対応フロー①（地方公共団体が実施主体の場合）

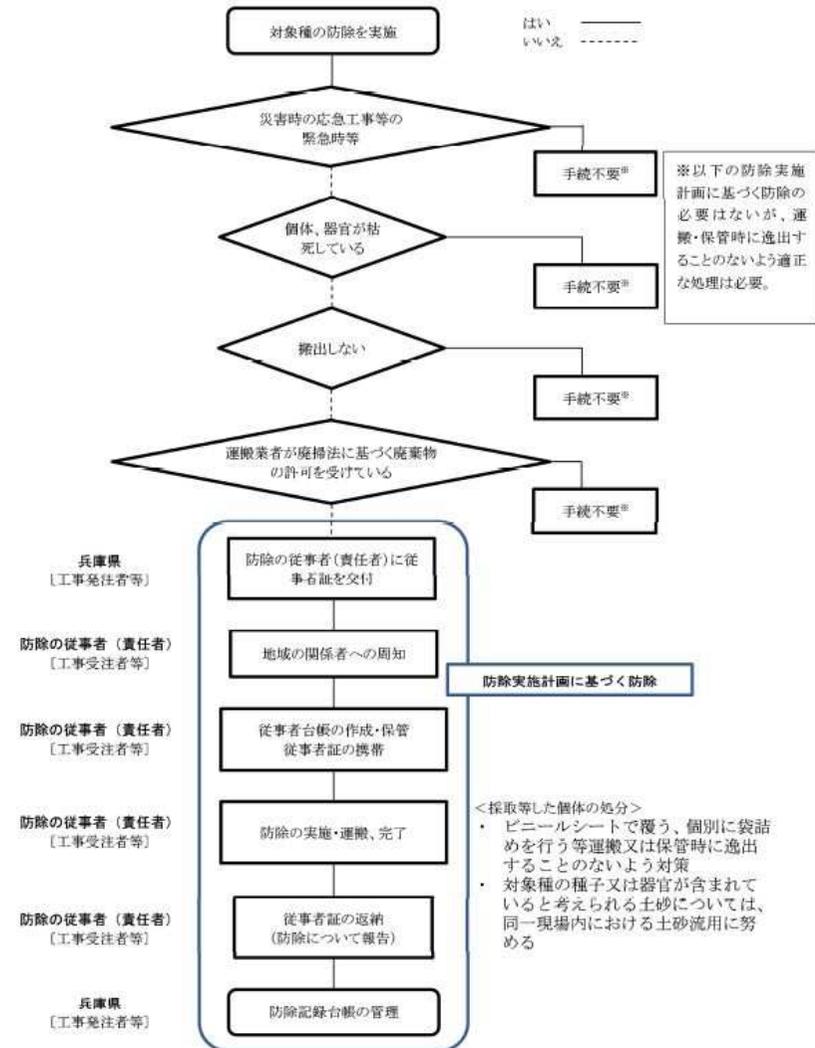


表20-1 配合に臨場する場合の頻度等 (土木工事)

		請負者の臨場、 確認等の時期	表20-2の分類	監査合格工場のJIS(A5308)製品	監査合格工場以外のJIS(A5308)製品	JIS(A5308)以外の製品
製造 に関する こと	配合への臨場	試験練りを行う 場合には、試験 練り時	A欄に該当	○	○	○
			B欄に該当	—	○	○
		打設時	A欄に該当	—	○*1	○*1
			B欄に該当	—	—	○*1
	単位水量にかかる 日常管理に関する 事項の確認	材料承諾提出時	A欄に該当	○	○	○*2
			B欄に該当	—	—	○*2
		打設期間中	A欄に該当	○	○	○
			B欄に該当	—	○	○
品質確保にかかる 社員等の教育状況 の確認	材料承諾提出時	A欄、B欄とも	—	○	○*2	
施工 に関する こと	有資格者等の臨場	打設時	A欄に該当	—	○	○
			B欄に該当	—	—	—
	打設状況報告書 (表20-3)の作成等	打設時	A欄、B欄とも	○	○	○

*1: 臨場の頻度は、鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前、午後)とし、
その他のコンクリートは打設1日につき1回とする。

*2: 監査合格工場は除く。

表20-2 コンクリート構造物の分類 (土木工事)

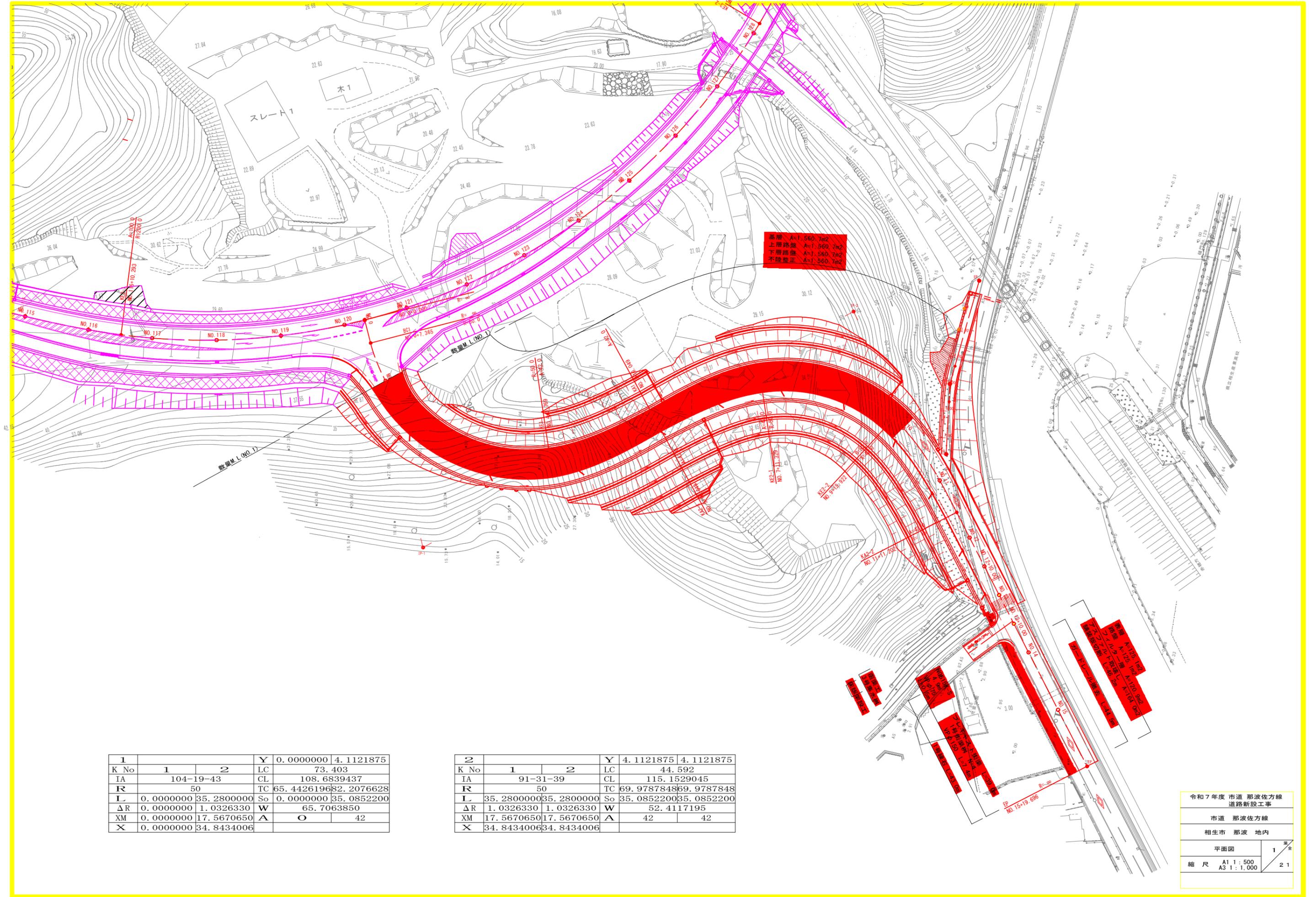
分類	コンクリート構造物の例
A欄	<p>(1) 重要構造物</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 函渠工 (樋門、樋管を含む) ② 躯体工 (橋台等) ③ RC躯体工 (橋脚等) ④ 橋脚フーチング工 ⑤ RC擁壁 ⑥ 砂防ダム ⑦ 堤本体工 ⑧ 排水機場本体工 ⑨ 水門工 ⑩ 共同溝本体工 <p>(2) 床版工</p> <p>(3) 橋梁上部工の内桁本体</p> <p>(4) トンネル工</p> <p>(5) オープン基礎工、ニューマチック基礎工</p> <p>(6) 水密性の求められるコンクリート構造物の内、比較的規模の大きいもの</p> <p>(7) その他、特別の理由により特記仕様書に定めのあるもの</p>
B欄	<p>A欄以外のもの</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 均しコンクリート (2) 小型構造物等の無筋コンクリート (3) その他のコンクリート工

公共工事提出書類一覧表

項目	提出期限	提出日	備考
1 契約時			
①工事施工計画、下請負人通知書（当初、変更）	契約後5日以内		
②現場代理人、主任技術者経歴書	同上		免許の名称、学歴又は専攻学科、実務経験、登録番号
③工程表（バーチャート）	同上		
④リサイクル法第13条に基づく書面	契約時		
⑤建設廃棄物処理計画書			
⑥建設業退職金共済制度			建設業退職金共済組合証紙購入確認書の写し
2 工事着手前			
ア 施工計画書（当初、変更）	工事着手前		監督員は施工の安全性や法令、規定を遵守し適切な施工が履行できるものであるかを確認し、疑義がある場合のみ指導・助言する。
①工事概要			工事名、路線及び河川名等、工事場所、工期、請負金額、工事内訳（主たる工種を記載し設計内訳書の記載は求めない。） ※図面等は不要
②計画工程表			工事費構成比、工程曲線
③現場組織表			現場代理人及び主任技術者等、各管理者（工程、出来形、品質、写真）、各係（資材、労務、機械、事務）及び社内検査員
④指定機械			使用機械の機種、規格、台数等
⑤主要船舶・機械			主要機械の機種、規格、台数等 指定機械に記載した機械も主要工種に使用するものは記載
⑥主要資材			JIS規格及びJIS工場の確認、品質・規格の確認
⑦施工方法			全体フローに示す工種は工事内訳書レベル2の範囲 施工方法の記載は工事内訳書レベル2又はレベル3までの範囲 任意仮設については詳細資料を添付。
⑧施工管理計画			工程管理、出来高管理、品質管理及び写真管理について、管理項目、管理時期、管理頻度、記録方法、配慮事項を記載 段階確認、立会確認の必要な項目、実施予定を記載 コンクリート、アスファルトの運搬経路図（経路、時間を記載）
⑨安全管理			安全衛生管理の組織体制、安全衛生管理に対する実施計画 ※記録様式の添付は不要
⑩緊急時の体制及び対応			緊急時の連絡体制、災害時の体制 ※緊急資材の調達先や運搬経路は不要
⑪交通計画			運搬時間に制限がある資材（Con、As）の運搬経路と時間 一般車両、歩行者等に対する交通管理 工事車両に対する安全管理や輸送計画 過積載防止に向けた体制や確認方法等 各種許可申請の有無と許可書の提出方法 ・道路使用許可書、特殊車両許可書の写し 交通誘導員の配置図、保安施設の配置図及び主要資材の運搬経路位置図

項目	提出期限	提出日	備考
⑫環境対策			騒音、振動、濁水、土埃等の配慮事項。周辺住民に対する対応
⑬現場作業環境の整備			現場事務所、休憩所、作業現場及び現場周辺の美化 土日休日作業に対する取組方針
⑭再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法			建設副産物収集運搬処理の委託及び最終処分における処分量の確認方法、再生資源の有効活用に向けた取り組み 添付書類 ・再生資源利用計画書 ・再生資源利用促進計画書 ・産廃業者との契約書及び産廃業者の許可書の写し
⑮その他			
・ 特定建設作業の届出			受付印のある写し
・ 土木工事保険等			第三者災害に対する保険
・ 労働基準法施行規則第 57 条適用事業報告			受付印のある写し 工事毎で報告がない場合は会社としての適用事業報告とする
・ 労働安全衛生法第 88 条届出			受付印のある写し
イ 使用材料確認願	工事着手まで		目次、インデックスを付ける。
①工事使用材料（当初、変更）			
②土木工事承諾願			当初設計に適合しないもの、承諾の必要な材料を使用する場合
ウ 特記仕様書関係必要書類			
①工事カルテ（当初、変更、完成）	契約、完成 10 日以内		
②施工体制台帳及び施工体系図	下請け契約後速やかに		※R2.10.1 以降契約分については「社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン」による。 下請け契約書（注文書、請書）の写し 監理技術者の資格、雇用関係の証明
③交通誘導員の資格者書及び経歴書	工事着手まで		
④事前測量成果報告書	工事着手まで		
3 施工中に提出する書類			
ア 段階確認書			自主検査の場合、検測状況写真添付
イ 立会願い			
ウ 休日作業届			
エ 安全訓練等報告	毎月提出		活動内容の具体的議事録、写真添付
オ 工事履行報告書（工程管理報告書）			計画工程と毎月の出来高数値により工程管理を行う
カ 工事打合せ簿	打合せ後 7 日以内		
キ 施工承諾図			
ク 変更施工計画書			変更施工計画書は追加式とし先の施工計画書は変更しない
ケ 変更計画工程表			変更契約以降、工事費構成比、出来高比も変更となるため注意

項目	提出期限	提出日	備考
4 工事検査時			
ア 社内検査報告書及び状況写真			
イ 工程管理			計画工程と毎月の出来高数値により工程管理を行う
①履行報告書			
②工程管理表			
③月間工程表			
④写真			
ウ 出来形管理			
①出来高数量報告書			契約数量に対する出来高数量（同様の数値基準による）
②出来形図			設計値及び実測値（括弧書き又は赤書き）を記載
③出来形管理表			略図、設計値、実測値、差及び規格値等
④出来形管理図（工程能力図）			上記管理表を図示したもの
⑤出来形管理図表			
エ 品質管理			
①コンクリート品質管理表			打設日、打設量、空気量、スランプ、圧縮強度等
・コンクリート試験成績表			
・塩分測定結果表			
・テストハンマー試験成績表			
・品質管理図表			※測定数10点未満は不要
②アスファルト舗装品質管理表			厚さ、密度、As量等
・コア厚測定管理図表			
・現場密度試験			
・アスファルト混合物温度管理表			
・抽出試験成績表			
・平坦性試験			
・品質管理図表			※測定数10点未満は不要
③土工関係			試験表等
・土の締め固め試験成績表			
・現場密度試験成績表			
・CBR試験成績表			
・品質管理図表			※測定数10点未満は不要
④鋼材			ミルシート
⑤コンクリート二次製品			品質証明書
⑥その他			
オ 工事写真管理			
①着工前、完成後の対比写真			
②測点の記入			
③出来高寸法の記入、検尺の判読			
④不可視部分の確認			
⑤工事標示板、ヘルメット着用			
カ 安全管理			
①安全協議会の開催			



基層 A=1,560.7m²
 上層路盤 A=1,560.7m²
 下層路盤 A=1,560.7m²
 不陸整正 A=1,560.7m²

基層 A=125.1m²
 フォルダ下層路盤 A=124.0m²
 フォルダ上層路盤 A=124.0m²
 アスファルト舗装 L=44.5m

アスファルト舗装 L=30.0m
 フォルダ下層路盤 A=124.0m²
 フォルダ上層路盤 A=124.0m²

1		Y	0.000000	4.1121875	
K No	1	2	LC	73.403	
IA	104-19-43	CL	108.6839437		
R	50	TC	65.4426196	82.2076628	
L	0.0000000	35.2800000	So	0.0000000	35.0852200
ΔR	0.0000000	1.0326330	W	65.7063850	
XM	0.0000000	17.5670650	A	O	42
X	0.0000000	34.8434006			

2		Y	4.1121875	4.1121875	
K No	1	2	LC	44.592	
IA	91-31-39	CL	115.1529045		
R	50	TC	69.9787848	69.9787848	
L	35.2800000	35.2800000	So	35.0852200	35.0852200
ΔR	1.0326330	1.0326330	W	52.4117195	
XM	17.5670650	17.5670650	A	42	42
X	34.8434006	34.8434006			

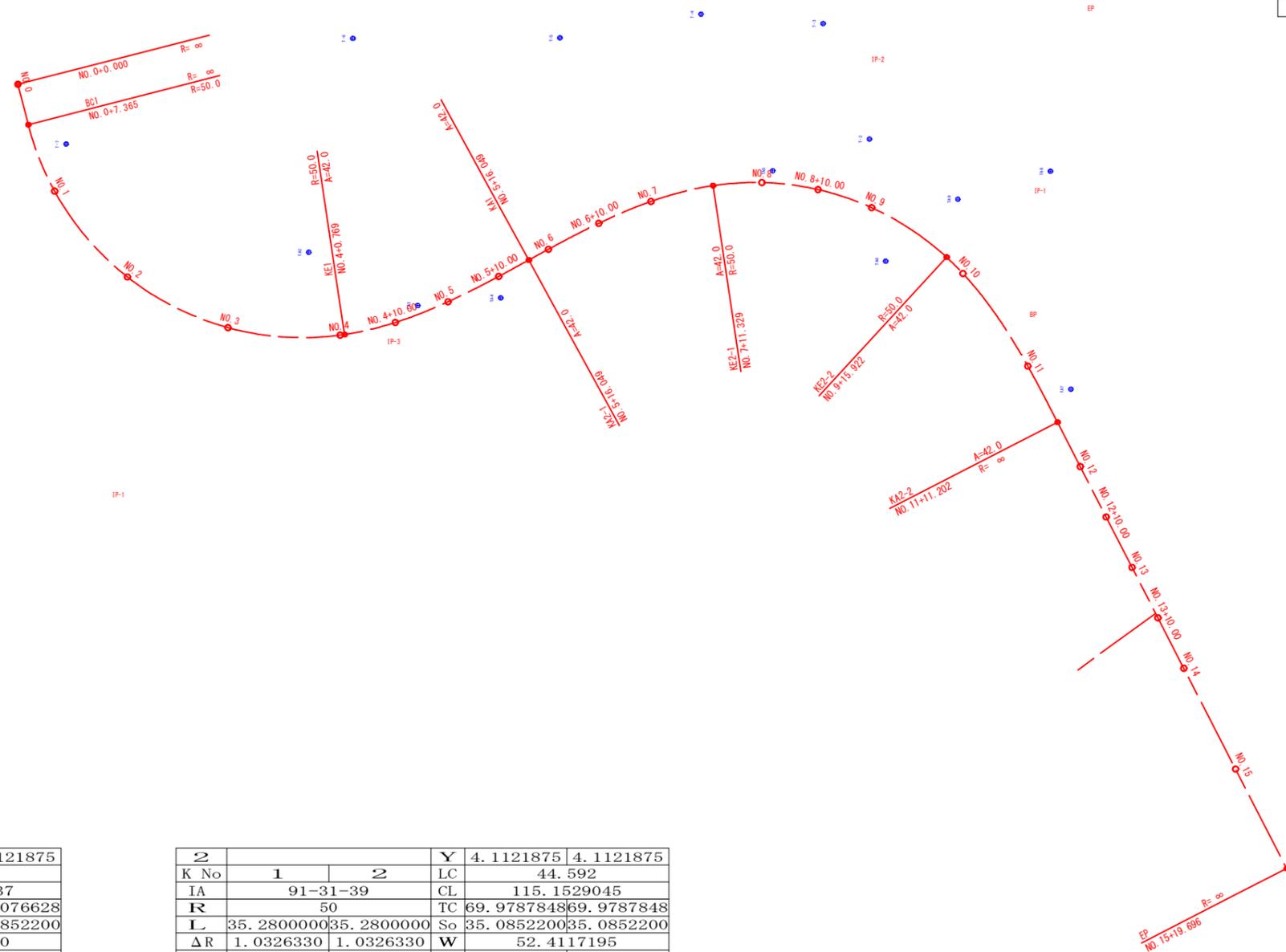
令和7年度 市道 那波佐方線
 道路新設工事
 市道 那波佐方線
 相生市 那波 地内
 平面図 1/1
 縮尺 A1 1:500
 A3 1:1,000 2/1

中間点座標リスト

点番	点名	ステーション	単距離	追加距離	X座標	Y座標
1000	NO.0	0+ 0.000		0.000	-132763.590	11443.739
1101	KE.1-1	0+ 7.365	7.365	7.365	-132765.421	11436.605
1102	NO.1	1+ 0.000	12.635	20.000	-132770.067	11424.891
1103	NO.2	2+ 0.000	20.000	40.000	-132782.925	11409.746
1104	NO.3	3+ 0.000	20.000	60.000	-132800.666	11400.804
1105	NO.4	4+ 0.000	20.000	80.000	-132820.488	11399.476
1106	KE.1-2	4+ 0.769	0.769	80.769	-132821.249	11399.584
1107	NO.4+10.00	4+ 10.000	9.231	90.000	-132830.221	11401.711
1108	NO.5	5+ 0.000	10.000	100.000	-132839.527	11405.356
1109	NO.5+10.00	5+ 10.000	10.000	110.000	-132848.466	11409.833
1110	KAKA2	5+ 16.049	6.049	116.049	-132853.781	11412.722
1111	NO.6	6+ 0.000	3.951	120.000	-132857.249	11414.616
1112	NO.6+10.00	6+ 10.000	10.000	130.000	-132866.135	11419.199
1113	NO.7	7+ 0.000	10.000	140.000	-132875.352	11423.065
1114	KE.2-1	7+ 11.329	11.329	151.329	-132886.314	11425.860
1115	NO.8	8+ 0.000	8.671	160.000	-132894.957	11426.394
1116	NO.8+10.00	8+ 10.000	10.000	170.000	-132904.863	11425.151
1117	NO.9	9+ 0.000	10.000	180.000	-132914.324	11421.963
1118	KE.2-2	9+ 15.922	15.922	195.922	-132927.550	11413.220
1119	NO.10	10+ 0.000	4.078	200.000	-132930.441	11410.346
1120	NO.11	11+ 0.000	20.000	220.000	-132941.894	11394.010
1121	KA.2-2	11+ 11.202	11.202	231.202	-132947.131	11384.108
1122	NO.12	12+ 0.000	8.798	240.000	-132951.152	11376.283
1123	NO.12+10.00	12+ 10.000	10.000	250.000	-132955.722	11367.388
1124	NO.13	13+ 0.000	10.000	260.000	-132960.292	11358.493
1125	NO.13+10.00	13+ 10.000	10.000	270.000	-132964.862	11349.599
1126	NO.14	14+ 0.000	10.000	280.000	-132969.432	11340.704
1127	NO.15	15+ 0.000	20.000	300.000	-132978.573	11322.915
1003	EP	15+ 19.695	19.695	319.695	-132987.574	11305.397

基準点座標リスト

点名	X座標	Y座標
T-1	-132929.532	11423.474
T-2	-132913.920	11434.059
T-3	-132905.741	11454.444
T-4	-132884.193	11456.109
T-5	-132859.266	11451.927
T-6	-132822.710	11451.826
T-7	-132772.093	11433.192
T-8	-132646.806	11438.308
TA1	-132793.213	11415.301
TA2	-132814.917	11414.091
TA3	-132834.161	11404.703
TA4	-132848.815	11406.062
TA5	-132896.844	11428.483
TA6	-132916.779	11412.529
TA7	-132949.492	11389.942
TA8	-132945.870	11428.397
TA9	-132929.534	11423.463



1		Y	0.0000000	4.1121875
K No	1	2	LC	73.403
IA	104-19-43	CL	108.6839437	
R	50	TC	65.442619682	2076628
L	0.0000000	So	0.0000000	35.0852200
ΔR	0.0000000	W	65.7063850	
XM	0.0000000	A	O	42
X	0.0000000			

2		Y	4.1121875	4.1121875
K No	1	2	LC	44.592
IA	91-31-39	CL	115.1529045	
R	50	TC	69.9787848	69.9787848
L	35.2800000	So	35.2800000	35.0852200
ΔR	1.0326330	W	52.4117195	
XM	17.5670650	A	42	42
X	34.8434006			

令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
線形図	2
縮尺 A1 1:500 A3 1:1,000	2 1

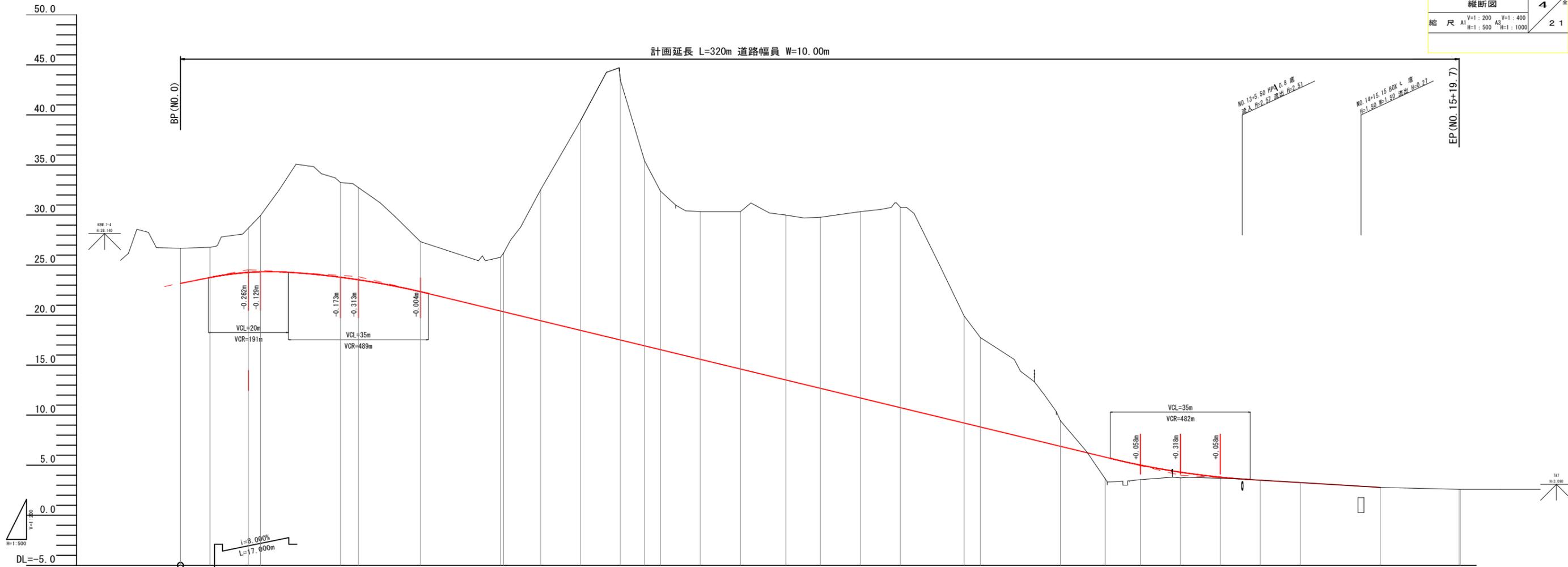
設計幅杭座標リスト

幅杭点名	X座標	Y座標
NO.1R20.26	-32752.329	11415.110
NO.1+10.00R15.74	32763.726	11406.477
NO.1+15.00R14.46	32769.127	11402.621
NO.2R12.47	-32775.210	11399.945
NO.2+5.00R11.61	-32780.766	11397.059
NO.2+10.00R10.85	32786.465	11394.700
NO.2+15.00R10.14	32792.266	11392.861
NO.3R9.61	-32798.131	11391.533
NO.3+10.00R9	-32809.909	11390.167
NO.4R11.06	-32821.956	11388.513
NO.4+3.69R15.1	-32827.193	11385.309
NO.4+11.25R20.15	32837.880	11383.020
NO.4+18.34R26.12	32848.486	11380.747
NO.5+10.00R31.91	32863.512	11381.687
NO.5+17.35R33.94	32871.217	11383.577
NO.6R31.73	-32872.374	11386.723
NO.6+9.31R24.36	32876.141	11396.977
NO.6+12.12R22.12	32877.237	11399.977
NO.7R23.07	-32883.016	11401.308
KE.2-1R22.21	-32889.600	11403.891
NO.8R22.69	-32894.391	11403.707
NO.8+10.00R23.04	32899.725	11402.694
NO.9R23.58	-32904.602	11400.477
NO.10R25.43	-32911.841	11392.998
NO.11R22.88	-32921.931	11382.838
NO.11+11.20R24.3	32925.453	11372.973
NO.12+5.96R19.09	32936.893	11362.252
NO.12+10.00R16.4	32941.074	11359.862
NO.13+3.91R7.42	32955.478	11351.622
NO.1+3.78L10.81	-32781.062	11427.572
NO.1+10.00L10.28	32783.571	11423.326
NO.1+15.00L10.24	32786.265	11420.406
NO.3L15.39	-32804.723	11415.644
NO.4L17.95	-32818.106	11417.266
NO.4+10.00L20.14	32824.096	11420.900
NO.5L20.24	-32831.120	11423.770
NO.5+10.00L20.05	32838.996	11427.549
NO.6L17.46	-32848.928	11429.961
NO.6+10.00L15.79	32859.324	11433.439
NO.6+15.00L17.04	32864.063	11436.957
NO.7L16.35	-32869.921	11438.482
NO.7+5.00L18.1	-32875.406	11442.026
KE.2-1L18.58	-32883.565	11444.234
NO.8L20.27	-32895.462	11446.659
NO.8+5.00L20.45	32902.489	11446.312
NO.8+10.00L20.05	32909.334	11444.691
NO.8+15.00L18.75	32915.657	11441.559
NO.9L17.59	-32921.574	11437.986
NO.9+10.00L13.95	32931.146	11428.304
NO.10L8.56	-32936.702	11416.186
NO.10+7.59L6.77	32940.729	11408.491
1351	-32941.627	11422.561
1352	-32938.020	11430.544
1353	-32937.821	11434.574
1354	-32941.360	11434.831
1355	-32943.521	11438.477
1356	-32947.736	11440.834
1357	-32949.440	11447.323
1358	-32951.391	11454.302



令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
設計幅杭参考図	3
縮尺	A1 1 : 500 A3 1 : 1,000
	21

計画延長 L=320m 道路幅員 W=10.00m



勾配	2.3.169	2.4.529	2.3.842											3.990	2.790	2.590																
盛土														2.16	1.45	0.58	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00										
切土	3.50	3.02	4.43	5.63	9.47	9.21	5.00	5.85	3.85	13.06	20.90	25.96	18.48	15.86	14.75	15.71	16.48	17.09	18.61	20.03	2.55	5.806	5.014	4.308	3.808	3.510	3.270	2.790	2.590			
計画高	23.169	23.758	24.267	24.325	23.781	23.529	22.341	23.413	23.338	19.447	18.481	17.514	16.930	16.548	15.582	14.616	13.522	12.684	11.718	10.752	9.820	8.888	7.888	6.888	5.806	5.014	4.308	3.808	3.510	3.270	2.790	2.590
地盤高	26.67	26.78	28.70	29.95	33.25	32.74	27.34	25.77	26.19	32.51	39.38	43.47	35.41	32.41	30.33	30.33	30.00	29.77	30.33	30.78	30.78	29.44	33.65	33.56	33.73	33.70	33.51	33.27	32.79	32.59	2.59	
追加距離	0.000	7.365	17.000	20.000	40.000	44.500	60.000	80.000	89.769	90.000	100.000	110.000	116.049	120.000	130.000	140.000	151.329	160.000	170.000	180.000	195.922	200.000	220.000	231.202	240.000	250.000	260.000	270.000	280.000	300.000	319.696	320.000
単距離	0.000	7.365	9.635	3.000	20.000	4.500	15.500	20.000	0.769	9.231	10.000	10.000	6.049	3.951	10.000	10.000	11.329	8.671	10.000	10.000	15.922	4.078	20.000	11.202	8.798	10.000	10.000	10.000	10.000	20.000	19.696	0.304
測点	BP	BC	+17.00	NO.1	NO.2	+4.50	NO.3	NO.4	KE1	+10.00	NO.5	+10.00	K41	K42-1	NO.6	+10.00	NO.7	KE2-1	NO.8	+10.00	NO.9	KE2-2	NO.10	NO.11	K42-2	NO.12	+10.00	NO.13	+10.00	NO.14	NO.15	EP
曲率図	<p>Curve data: L=7.365, R=50.000, LC=73.404; IP.1 (14°18'19" 43", TL165.443, TL282.208, CL=108.684); A=42.000, L1=35.280, L2=35.280; R=50.000, LC=44.593, IP.2 (14°11'31" 40", TL=69.979, CL=115.153, SL=23.153); A=42.000, L2=35.280, L=88.493</p>																															
片勾配摺付図	<p>Grade transition diagrams showing slopes of 1/157, 1/125, and 1/125. Includes a section with S=±6.000% and another with S=-1.500%.</p>																															
拡幅摺付図	<p>Diagram showing road width transitions from 1.500m (0.750m x 2) to 1.500m (0.750m x 2).</p>																															



鉄筋挿入併用法砕工の種類

名称	適用地盤	法枠規格	鉄筋規格
タイプ-0	D級岩盤	□300-1.5m×1.5m D13	D25、L=5m
タイプ-I	CL級岩盤	□300-1.5m×1.5m D13	D22、L=4m
タイプ-II	CM級岩盤	□300-2.0m×2.0m D13	D25、L=4m

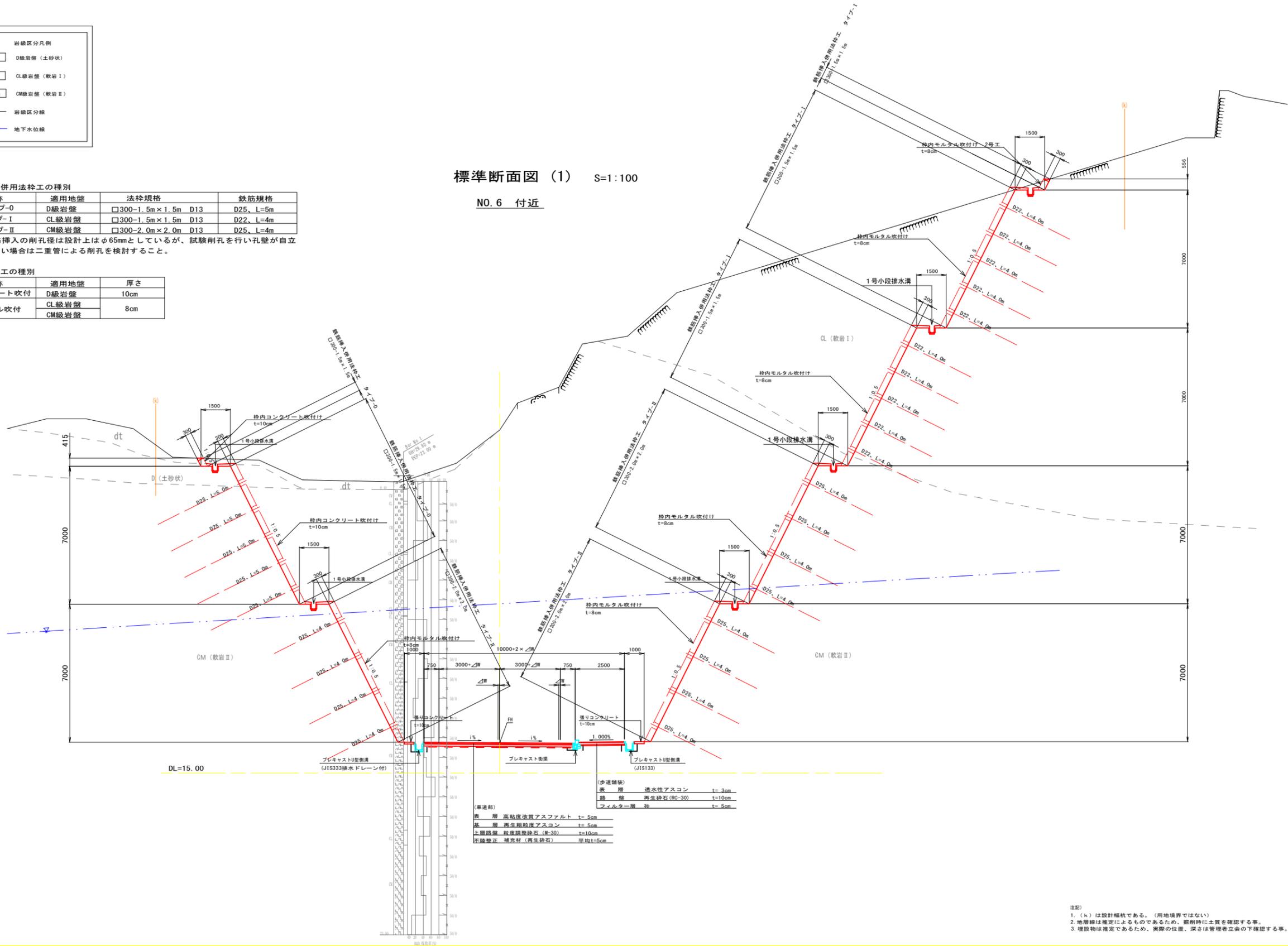
注記) 鉄筋挿入の削孔径は設計上はφ65mmとしているが、試験削孔を行い孔壁が自立しない場合は二重管による削孔を検討すること。

枠内吹付工の種類

名称	適用地盤	厚さ
コンクリート吹付	D級岩盤	10cm
モルタル吹付	CL級岩盤	8cm
	CM級岩盤	

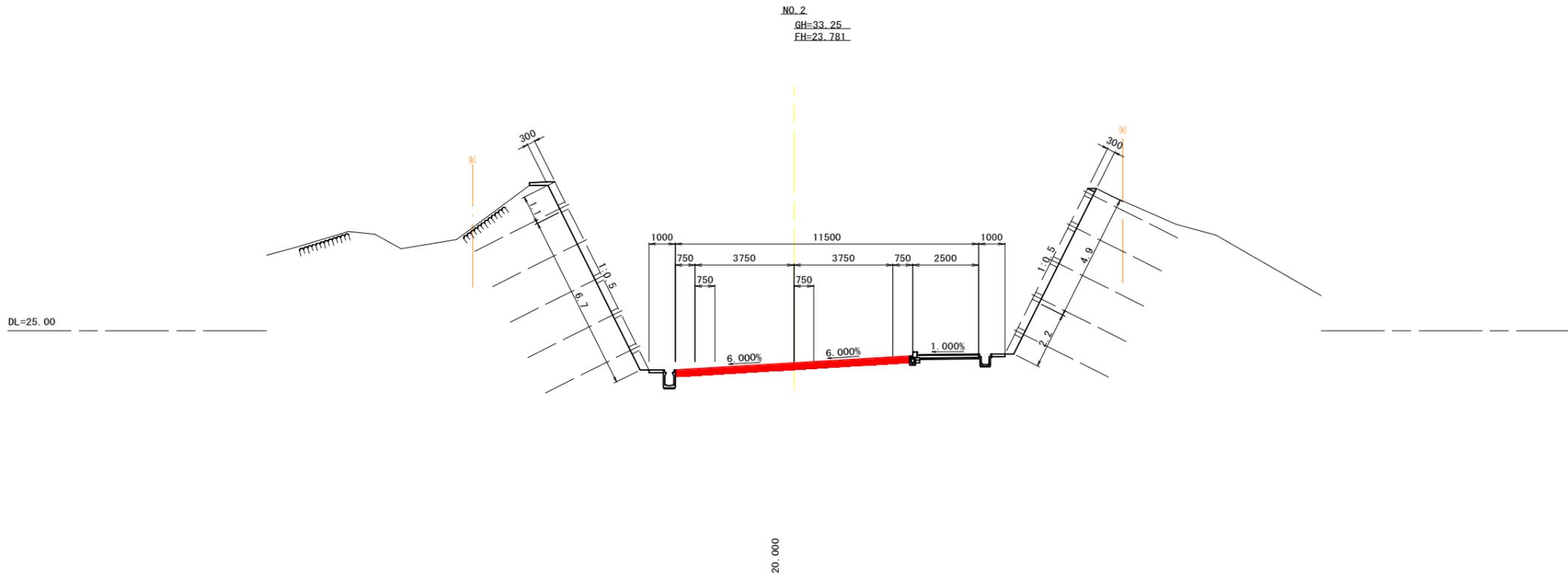
標準断面図 (1) S=1:100

NO.6 付近



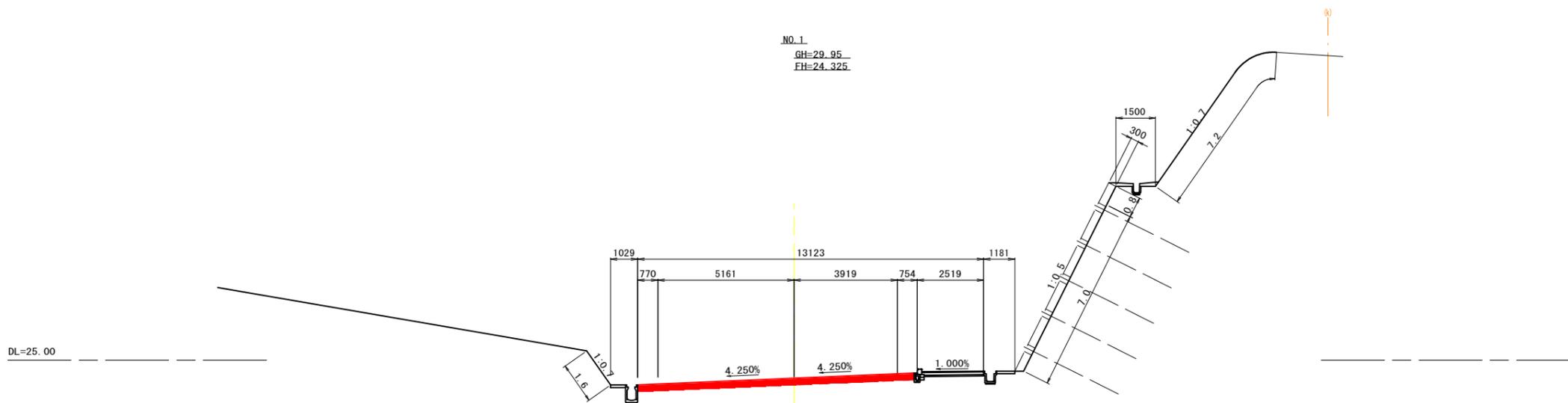
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
標準断面図 (1)	5 業全
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	2 1

注記)
 1. (k) は設計幅尺である。(用地境界ではない)
 2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
 3. 埋設物は推定であるため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。



測点 NO. 2			
箇所	舗装準備工	車道	歩道
土砂	片切 オープン	不陸整正	8.88
敷岩Ⅰ			
敷岩Ⅱ			
舗装工			
盛土		表層 (排水性)	
路床	路体	基層	8.88
W<2.5		上層路盤 (t=100)	8.88
2.5≤W<4.0		下層路盤 (平均t=50)	8.88
4.0≤W		下層路盤 (t=100)	
歩道盛土		表層 (普通)	
法面整形工			
	左	右	
切土 (土砂)		表層	
切土 (敷岩Ⅰ)		路盤	
切土 (敷岩Ⅱ)		フィルター層	
取壊し工			
盛土		左	右
法面工			
	左	右	
強コンクリート		Co (無筋) (a2)	
擁壁工		As t=5cm (a)	
		軟付 t=10cm (a)	
作業土工			
排水工			
床盤 (土砂)			
床盤 (敷岩Ⅰ)			
床盤 (敷岩Ⅱ)			
埋戻 (厚<1m)			
埋戻 (1m≤厚<4m)			
埋戻コンクリート			
基面整正 (土砂)			
基面整正 (敷岩)			

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

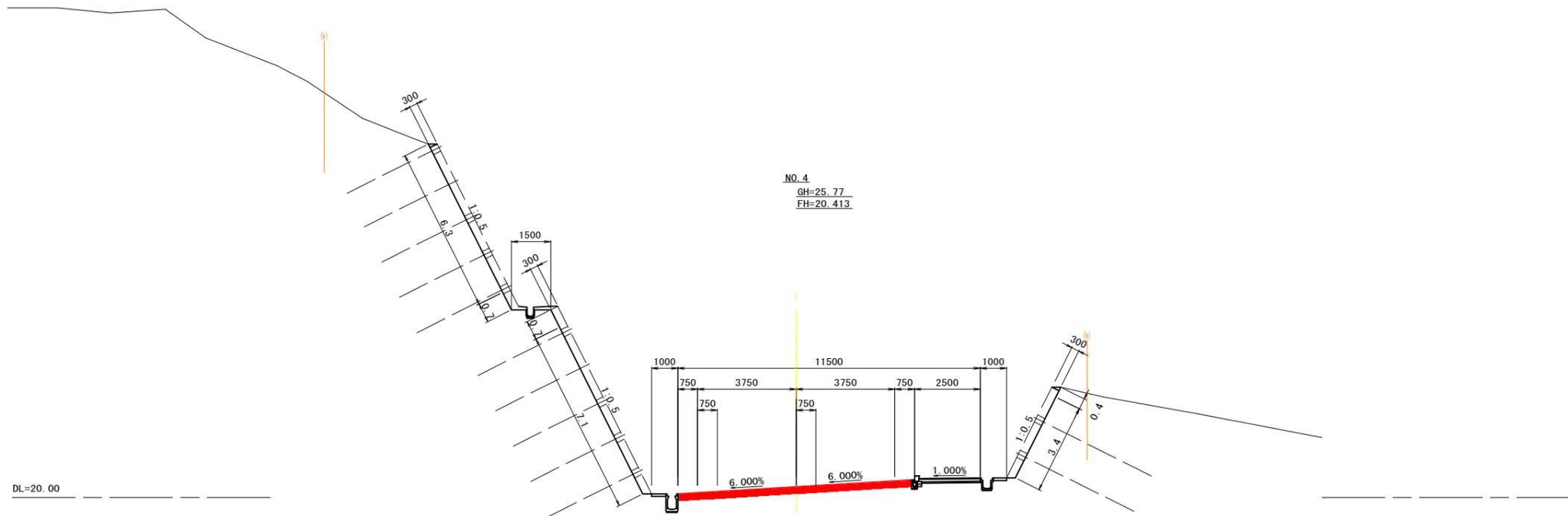


測点 NO. 1			
箇所	舗装準備工	車道	歩道
土砂	片切 オープン	不陸整正	10.48
敷岩Ⅰ			
敷岩Ⅱ			
舗装工			
盛土		表層 (排水性)	
路床	路体	基層	10.48
W<2.5		上層路盤 (t=100)	10.48
2.5≤W<4.0		下層路盤 (平均t=50)	10.48
4.0≤W		下層路盤 (t=100)	
歩道盛土		表層 (普通)	
法面整形工			
	左	右	
切土 (土砂)		表層	
切土 (敷岩Ⅰ)		路盤	
切土 (敷岩Ⅱ)		フィルター層	
取壊し工			
盛土		左	右
作業土工			
排水工			
床盤 (土砂)		Co (無筋) (a2)	
床盤 (敷岩Ⅰ)		As t=5cm (a)	
床盤 (敷岩Ⅱ)		軟付 t=10cm (a)	
埋戻 (厚<1m)			
埋戻 (1m≤厚<4m)			
埋戻コンクリート			
基面整正 (土砂)			
基面整正 (敷岩)			

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

NO. 1~NO. 2	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断図 (1)	7/21
縮尺	A1 1:100 A3 1:200

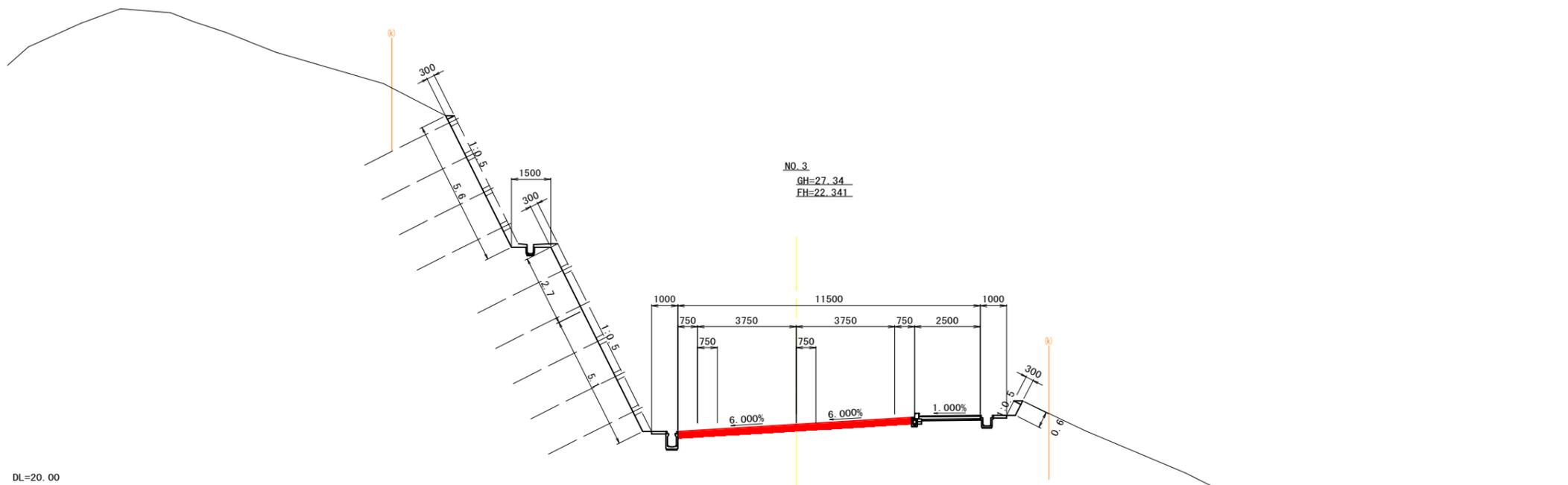
- ※1. (k) は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。



測点 NO. 4
GH=25.77
FH=20.413

掘削		舗装準備工		
土砂	片切	オープン	車道	歩道
土砂			不陸整正	8.88
軟岩Ⅰ				
軟岩Ⅱ				
盛土		舗装工		
路床	路体	表層 (排水性)		
W<2.5		基層		8.88
2.5≤W<4.0		車道	上層路盤 (t=100)	8.88
4.0≤W		道	下層路盤 (平均t=50)	8.88
歩道盛土			下層路盤 (t=100)	
			表層 (普通)	
法面整形工				
	左	右	歩	表層
切土 (土砂)			道	路盤
切土 (軟岩Ⅰ)				フィルター層
切土 (軟岩Ⅱ)				取壊し工
盛土				左
				右
法面工				
	左	右	Co (無筋) (m ²)	
強コンクリート			As t=5cm (m)	
養生工			吹付 t=10cm (m)	
作業土工				
			排水工	
床掘 (土砂)				
床掘 (軟岩Ⅰ)				
床掘 (軟岩Ⅱ)				
埋戻 (W<1m)				
埋戻 (1m≤W<4m)				
埋戻コンクリート				
基面整正 (土砂)				
基面整正 (軟岩)				

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。



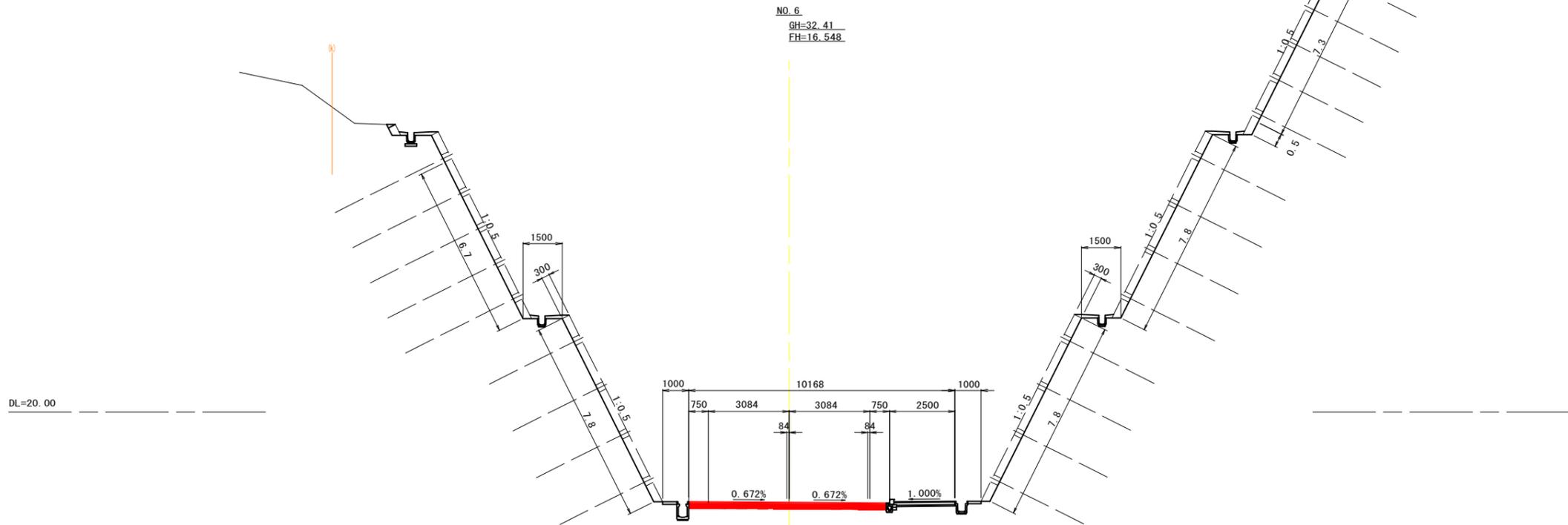
測点 NO. 3
GH=27.34
FH=22.341

掘削		舗装準備工		
土砂	片切	オープン	車道	歩道
土砂			不陸整正	8.88
軟岩Ⅰ				
軟岩Ⅱ				
盛土		舗装工		
路床	路体	表層 (排水性)		
W<2.5		基層		8.88
2.5≤W<4.0		車道	上層路盤 (t=100)	8.88
4.0≤W		道	下層路盤 (平均t=50)	8.88
歩道盛土			下層路盤 (t=100)	
			表層 (普通)	
法面整形工				
	左	右	歩	表層
切土 (土砂)			道	路盤
切土 (軟岩Ⅰ)				フィルター層
切土 (軟岩Ⅱ)				取壊し工
盛土				左
				右
法面工				
	左	右	Co (無筋) (m ²)	
強コンクリート			As t=5cm (m)	
養生工			吹付 t=10cm (m)	
作業土工				
			排水工	
床掘 (土砂)				
床掘 (軟岩Ⅰ)				
床掘 (軟岩Ⅱ)				
埋戻 (W<1m)				
埋戻 (1m≤W<4m)				
埋戻コンクリート				
基面整正 (土砂)				
基面整正 (軟岩)				

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

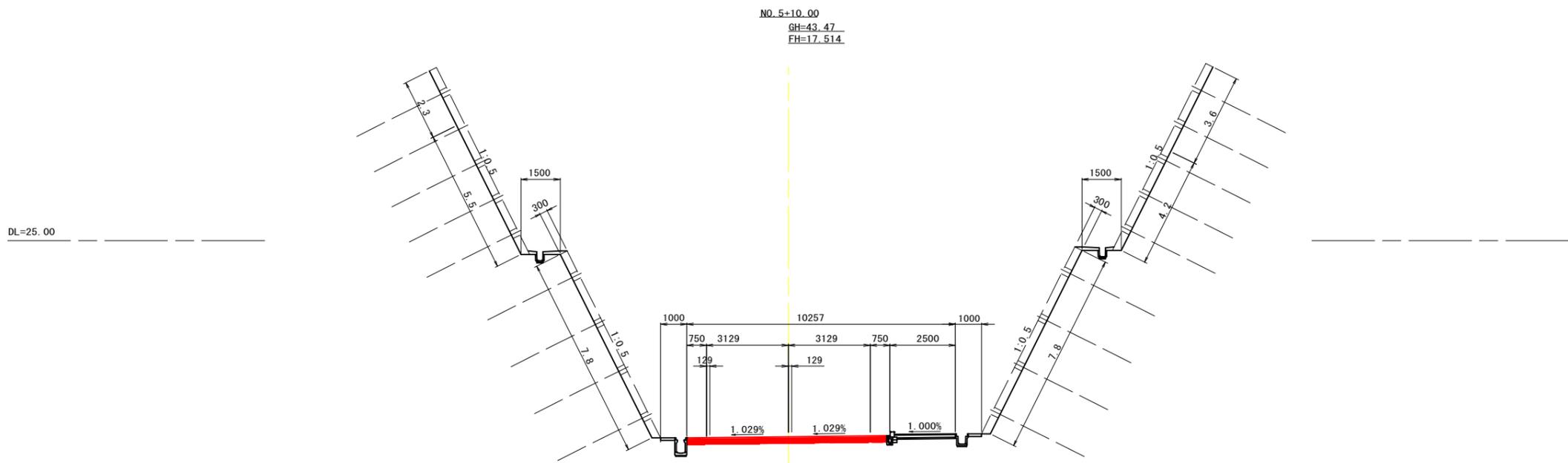
NO. 3~NO. 4	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面 (2)	8
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	2 1

- ※1. (k)は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。



測点 NO. 6				
掘削	片切	オープン	舗装準備工	
			車道	歩道
土砂			不陸整正	7.55
軟岩Ⅰ				
軟岩Ⅱ				
盛土			舗装工	
路床	路体		表層(排水性)	
W<2.5			基層	7.55
2.5≤W<4.0			上層路盤(t=100)	7.55
4.0≤W			下層路盤(平均t=50)	7.55
歩道盛土			下層路盤(t=100)	
			表層(普通)	
法面整形工				
	左	右	歩道	表層
切土(土砂)			路盤	
切土(軟岩Ⅰ)			フィルター層	
切土(軟岩Ⅱ)			取壊し工	
盛土			左	右
法面工			Co(無筋)(m ²)	
	左	右	As t=5cm(m)	
張コンクリート			吹付 t=10cm(m)	
補生工				
作業土工				
排水工				
床掘(土砂)				
床掘(軟岩Ⅰ)				
床掘(軟岩Ⅱ)				
埋戻(埋<1m)				
埋戻(埋≤1m<4m)				
埋戻コンクリート				
基層整正(土砂)				
基層整正(軟岩)				

※()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。



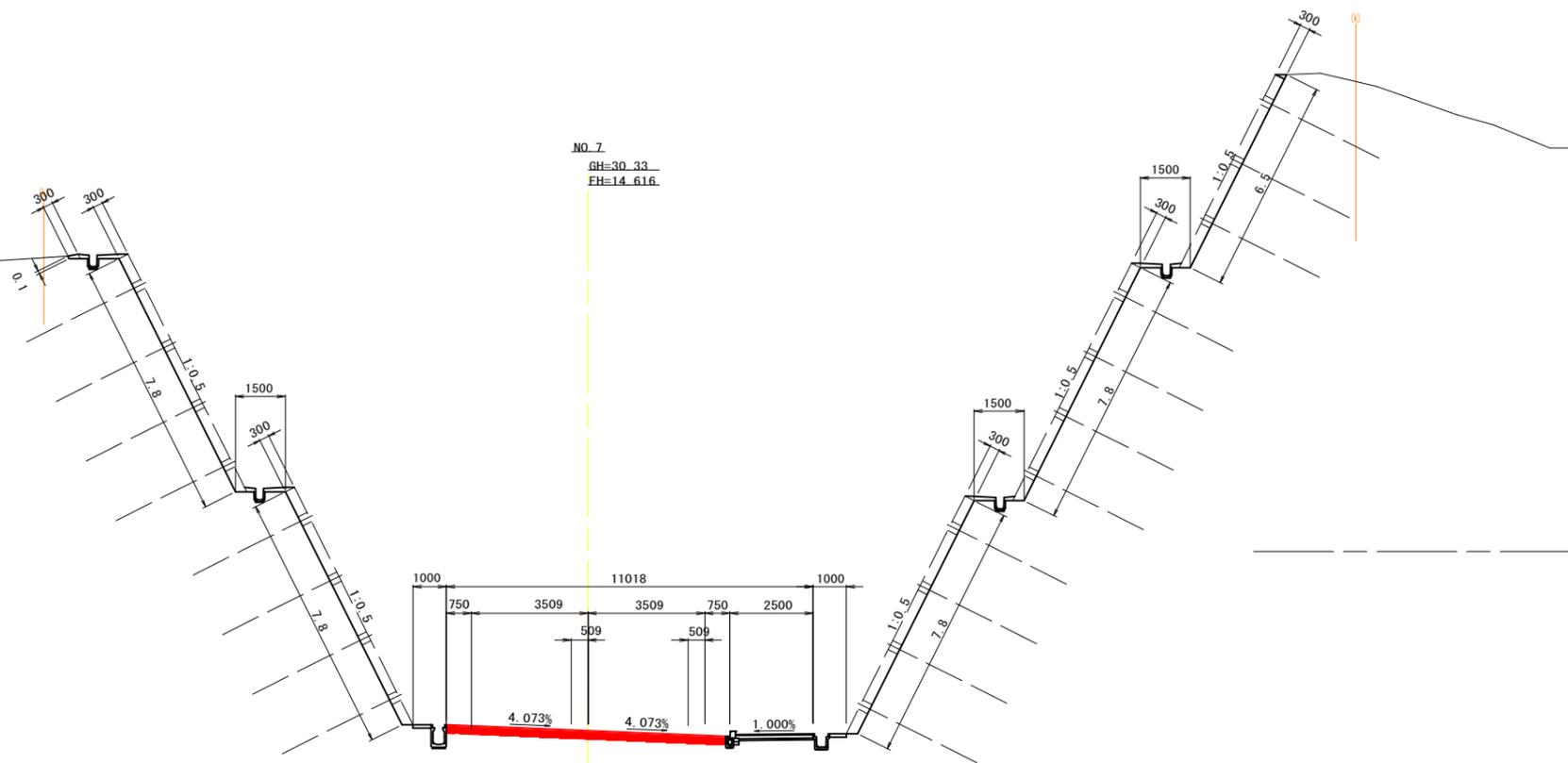
測点 NO. 5+10.00				
掘削	片切	オープン	舗装準備工	
			車道	歩道
土砂			不陸整正	7.64
軟岩Ⅰ				
軟岩Ⅱ				
盛土			舗装工	
路床	路体		表層(排水性)	
W<2.5			基層	7.64
2.5≤W<4.0			上層路盤(t=100)	7.64
4.0≤W			下層路盤(平均t=50)	7.64
歩道盛土			下層路盤(t=100)	
			表層(普通)	
法面整形工				
	左	右	歩道	表層
切土(土砂)			路盤	
切土(軟岩Ⅰ)			フィルター層	
切土(軟岩Ⅱ)			取壊し工	
盛土			左	右
法面工			Co(無筋)(m ²)	
	左	右	As t=5cm(m)	
張コンクリート			吹付 t=10cm(m)	
補生工				
作業土工				
排水工				
床掘(土砂)				
床掘(軟岩Ⅰ)				
床掘(軟岩Ⅱ)				
埋戻(埋<1m)				
埋戻(埋≤1m<4m)				
埋戻コンクリート				
基層整正(土砂)				
基層整正(軟岩)				

※()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

NO. 5+10	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面(4)	10
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	21

- ※1. (k) は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。

DL=20.00



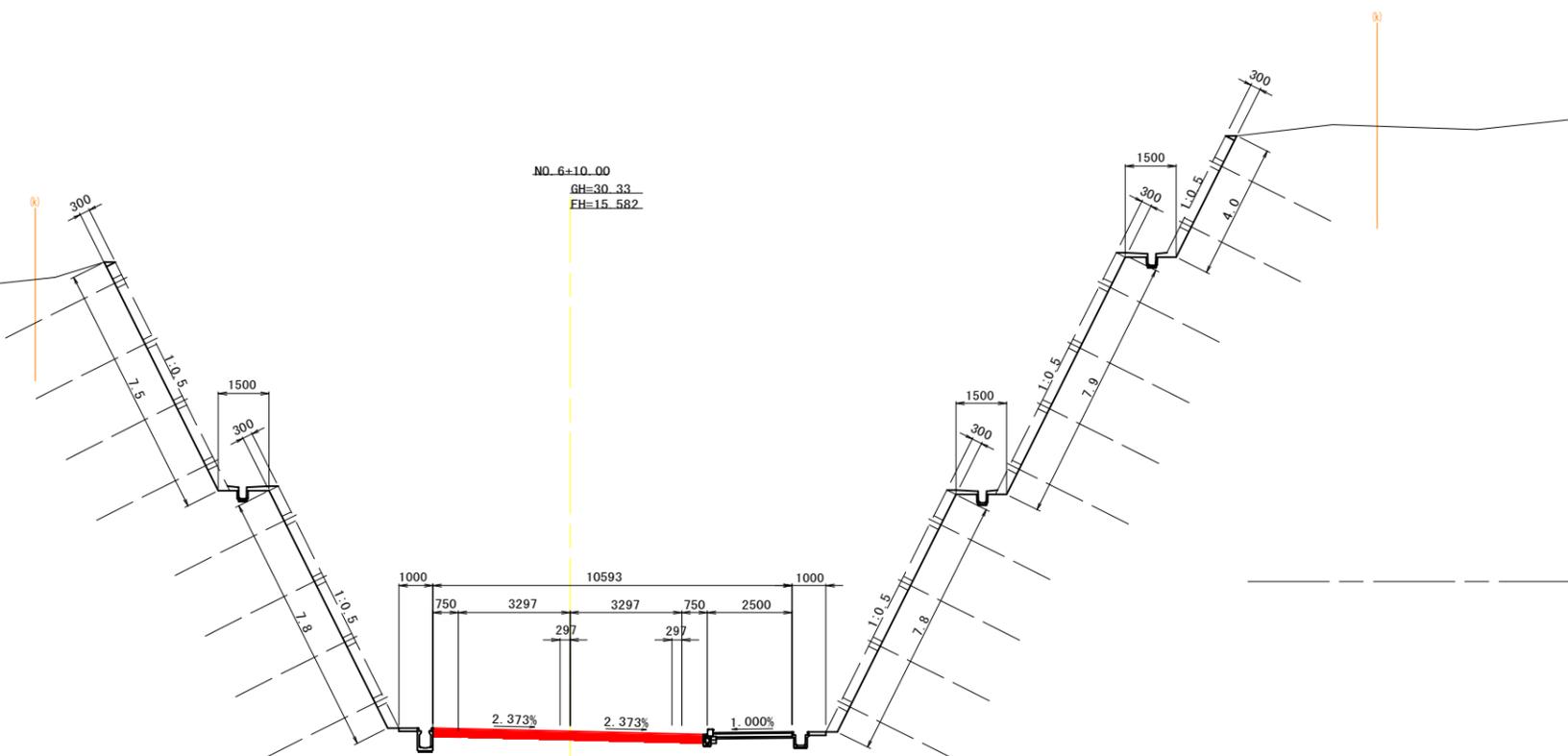
NO. 7
GH=30.33
FH=14.616

10.000

測点 NO. 7			
掘削	舗装準備工		
	片切	オープン	車道 歩道
土砂		不陸整正	8.40
軟岩Ⅰ			
軟岩Ⅱ			
盛土		舗装工	
路床	路体	表層(排水性)	
W<2.5		基層	8.40
2.5≤W<4.0		上層路盤(t=100)	8.40
4.0≤W		下層路盤(平均t=50)	8.40
歩道盛土		下層路盤(t=100)	
		表層(普通)	
法面整形工			
	左	右	歩道
切土(土砂)			表層
切土(軟岩Ⅰ)			路盤
切土(軟岩Ⅱ)			フィルター層
			取壊し工
盛土		左	右
法面工			
	左	右	Co(無筋)(m ²)
			As t=5cm(m)
強コンクリート			吹付 t=10cm(m)
植生工			
作業土工			
			排水工
床掘(土砂)			
床掘(軟岩Ⅰ)			
床掘(軟岩Ⅱ)			
埋戻(厚<1m)			
埋戻(1m≤厚<4m)			
埋戻コンクリート			
基層整正(土砂)			
基層整正(軟岩)			

※()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

DL=20.00



NO. 6+10.00
GH=30.33
FH=15.582

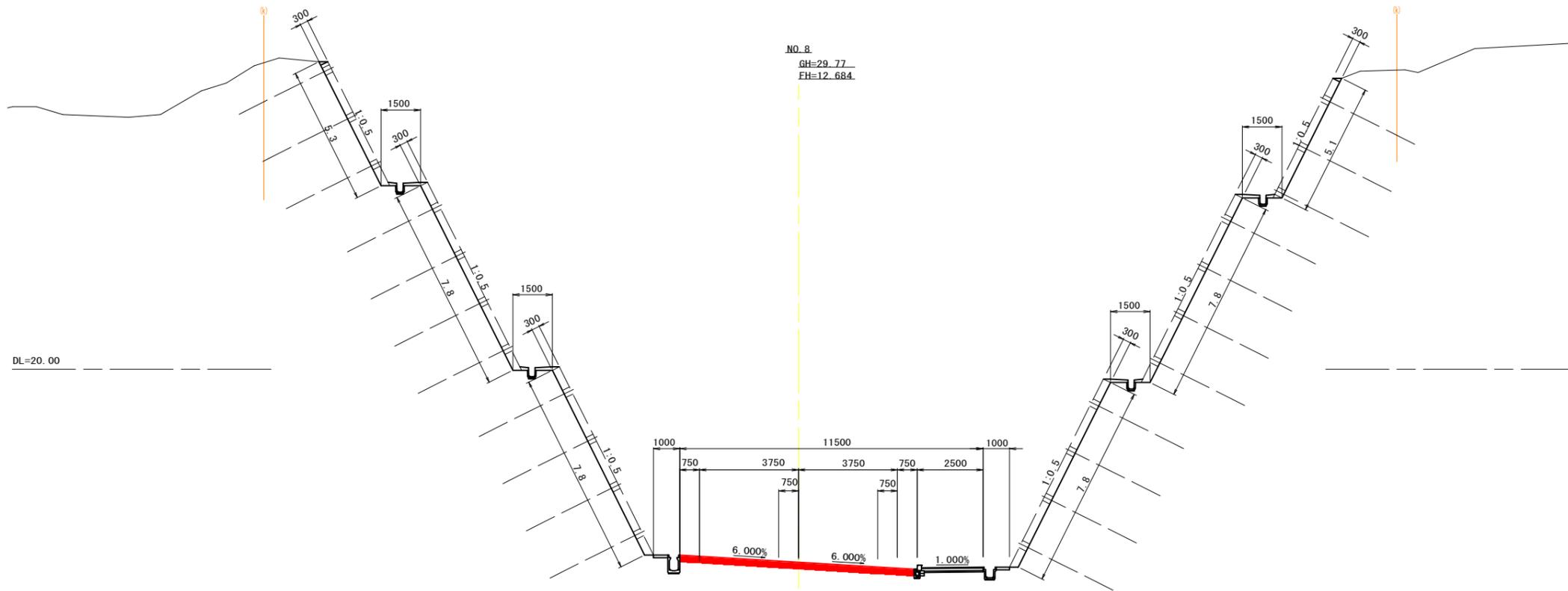
10.000

測点 NO. 6+10.00			
掘削	舗装準備工		
	片切	オープン	車道 歩道
土砂		不陸整正	7.97
軟岩Ⅰ			
軟岩Ⅱ			
盛土		舗装工	
路床	路体	表層(排水性)	
W<2.5		基層	7.97
2.5≤W<4.0		上層路盤(t=100)	7.97
4.0≤W		下層路盤(平均t=50)	7.97
歩道盛土		下層路盤(t=100)	
		表層(普通)	
法面整形工			
	左	右	歩道
切土(土砂)			表層
切土(軟岩Ⅰ)			路盤
切土(軟岩Ⅱ)			フィルター層
			取壊し工
盛土		左	右
法面工			
	左	右	Co(無筋)(m ²)
			As t=5cm(m)
強コンクリート			吹付 t=10cm(m)
植生工			
作業土工			
			排水工
床掘(土砂)			
床掘(軟岩Ⅰ)			
床掘(軟岩Ⅱ)			
埋戻(厚<1m)			
埋戻(1m≤厚<4m)			
埋戻コンクリート			
基層整正(土砂)			
基層整正(軟岩)			

※()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

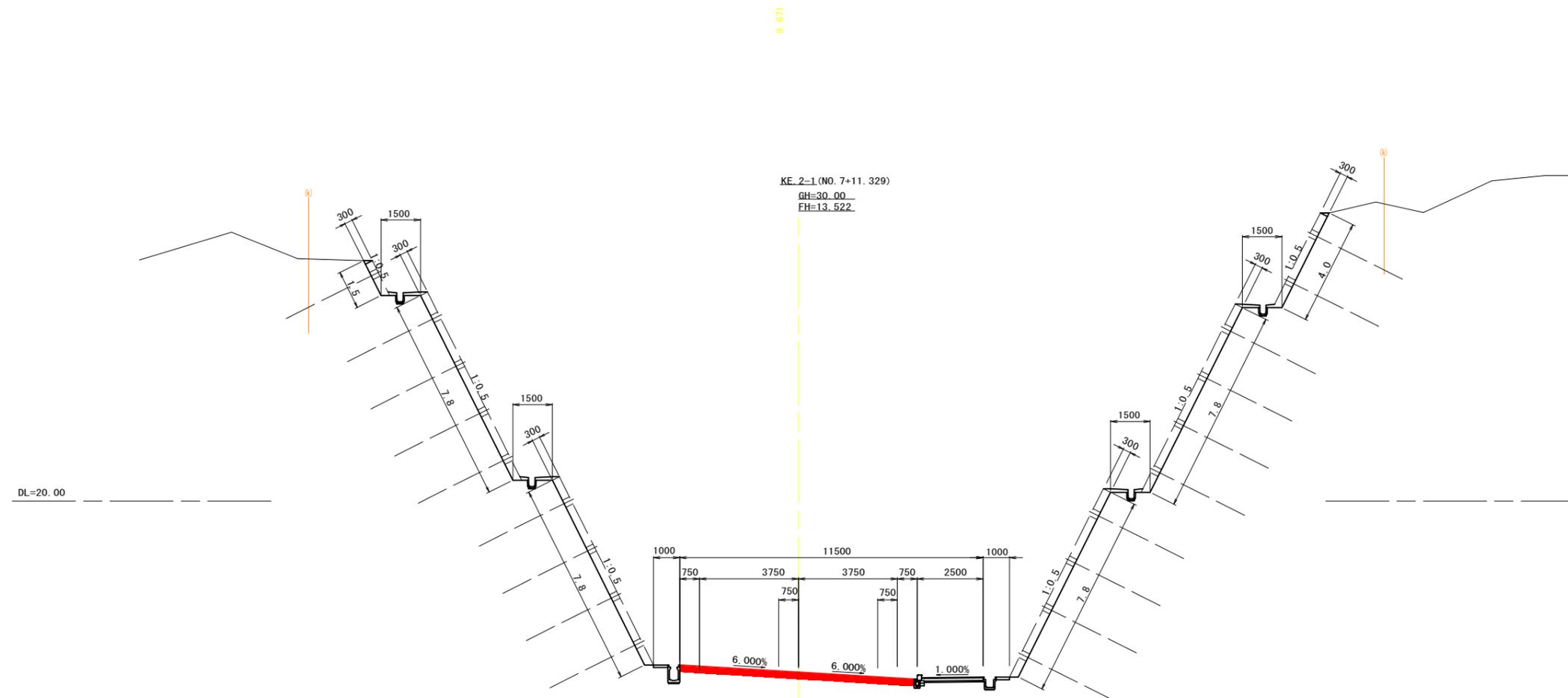
NO. 6+10~NO. 7	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面(5)	1/1
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	2/1

- ※1. (k) は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。



測点 NO. 8			
掘削	片切	舗装準備工	
		車道	歩道
土砂	オープン	不陸整正	8.88
軟岩Ⅰ			
軟岩Ⅱ			
盛土		舗装工	
路床	路体	表層(排水性)	
W<2.5		基層	8.88
2.5≤W<4.0		上層路盤(t=100)	8.88
4.0≤W		下層路盤(平均t=50)	8.88
歩道盛土		下層路盤(t=100)	
		表層(普通)	
法面整形工			
	を	右	歩
切土(土砂)			表層
切土(軟岩Ⅰ)			路盤
切土(軟岩Ⅱ)			フィルター層
盛土			取壊し工
		を	右
法面工			
	を	右	Co(無筋)(m ²)
預コンクリート			As t=5cm(m)
植生工			吹付 t=10cm(m)
作業土工			
			排水工
床層(土砂)			
床層(軟岩Ⅰ)			
床層(軟岩Ⅱ)			
埋戻(埋<1m)			
埋戻(埋≤埋<4m)			
埋戻コンクリート			
基礎整正(土砂)			
基礎整正(軟岩)			

※()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

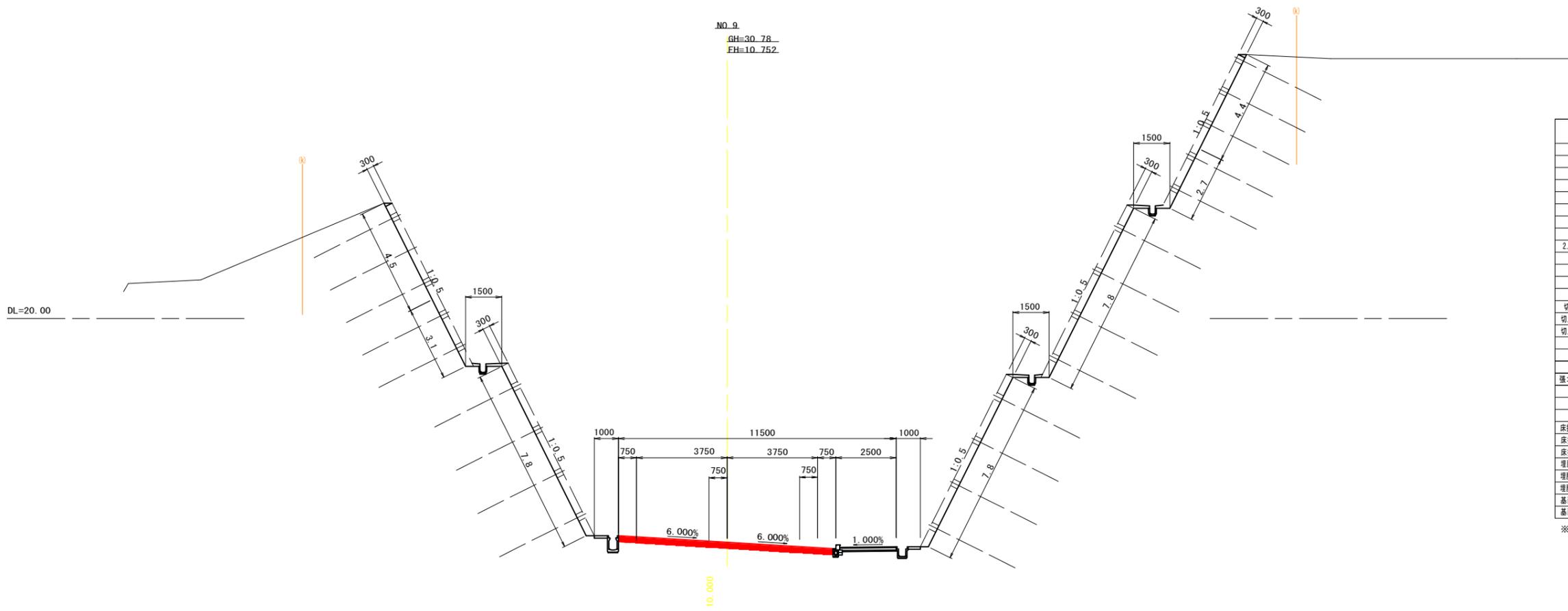


測点 KE. 2-1 (NO. 7+11.329)			
掘削	片切	舗装準備工	
		車道	歩道
土砂	オープン	不陸整正	8.88
軟岩Ⅰ			
軟岩Ⅱ			
盛土		舗装工	
路床	路体	表層(排水性)	
W<2.5		基層	8.88
2.5≤W<4.0		上層路盤(t=100)	8.88
4.0≤W		下層路盤(平均t=50)	8.88
歩道盛土		下層路盤(t=100)	
		表層(普通)	
法面整形工			
	を	右	歩
切土(土砂)			表層
切土(軟岩Ⅰ)			路盤
切土(軟岩Ⅱ)			フィルター層
盛土			取壊し工
		を	右
法面工			
	を	右	Co(無筋)(m ²)
預コンクリート			As t=5cm(m)
植生工			吹付 t=10cm(m)
作業土工			
			排水工
床層(土砂)			
床層(軟岩Ⅰ)			
床層(軟岩Ⅱ)			
埋戻(埋<1m)			
埋戻(埋≤埋<4m)			
埋戻コンクリート			
基礎整正(土砂)			
基礎整正(軟岩)			

※()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

KE. 2-1 (NO. 7+11.329) ~ NO. 8	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面(6)	1/2
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	2/1

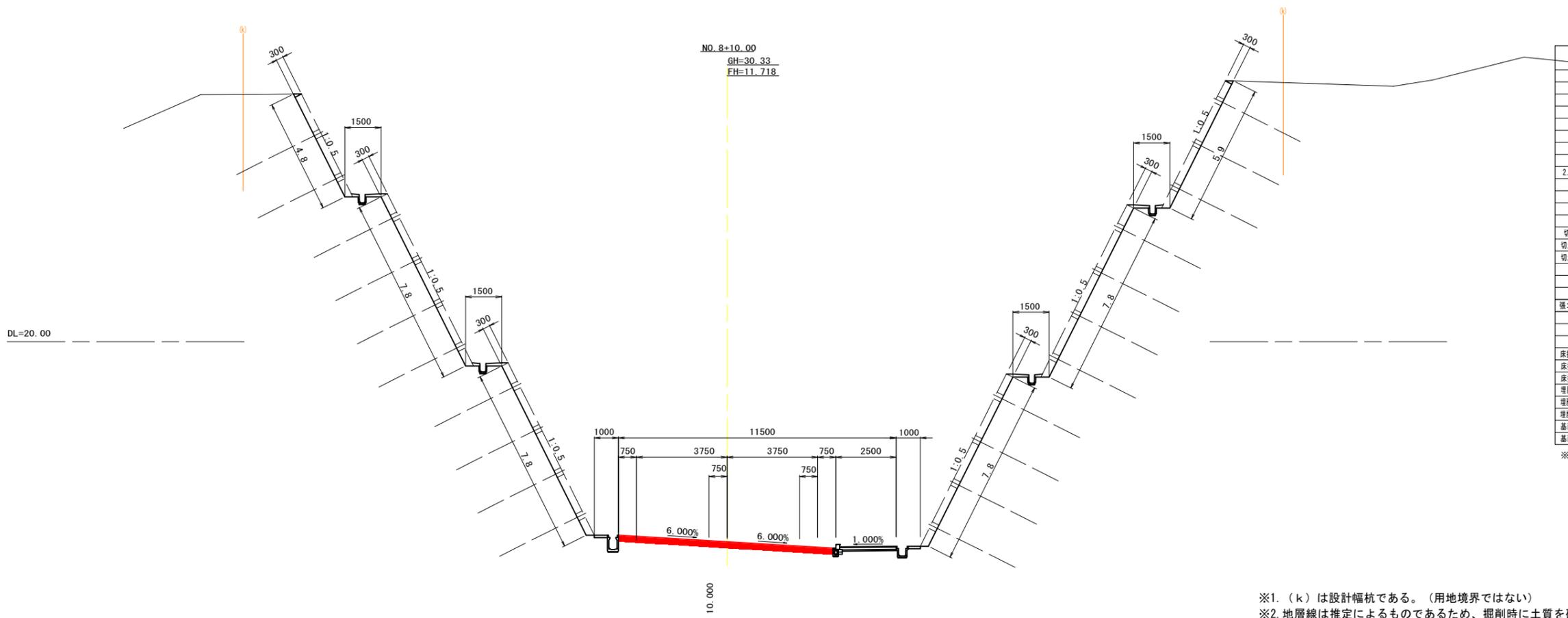
- ※1. (k) は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。



NO. 9
GH=30.78
FH=10.752

測点 NO. 9			
掘削	片切	オープン	舗装準備工
土砂			不陸整正 8.88
敷岩Ⅰ			
敷岩Ⅱ			舗装工
盛土		表層(排水性)	
路床	路体	基層	8.88
W<2.5		上層路盤(t=100)	8.88
2.5≤W<4.0		下層路盤(平均t=50)	8.88
4.0≤W		下層路盤(t=100)	
歩道盛土		表層(普通)	
法面整形工			
	左	右	表層
切土(土砂)			路盤
切土(敷岩Ⅰ)			フィルター層
切土(敷岩Ⅱ)			取壊し工
盛土			左
			右
法面工		Co(無筋)(m ²)	
	左	右	As t=5cm(m)
強コンクリート			吹付 t=10cm(m)
植生工			
作業土工			
排水工			
床掘(土砂)			
床掘(敷岩Ⅰ)			
床掘(敷岩Ⅱ)			
埋戻(埋<埋)			
埋戻(埋<埋)<4m)			
埋戻コンクリート			
基盤整正(土砂)			
基盤整正(敷岩)			

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。



NO. 8+10.00
GH=30.33
FH=11.718

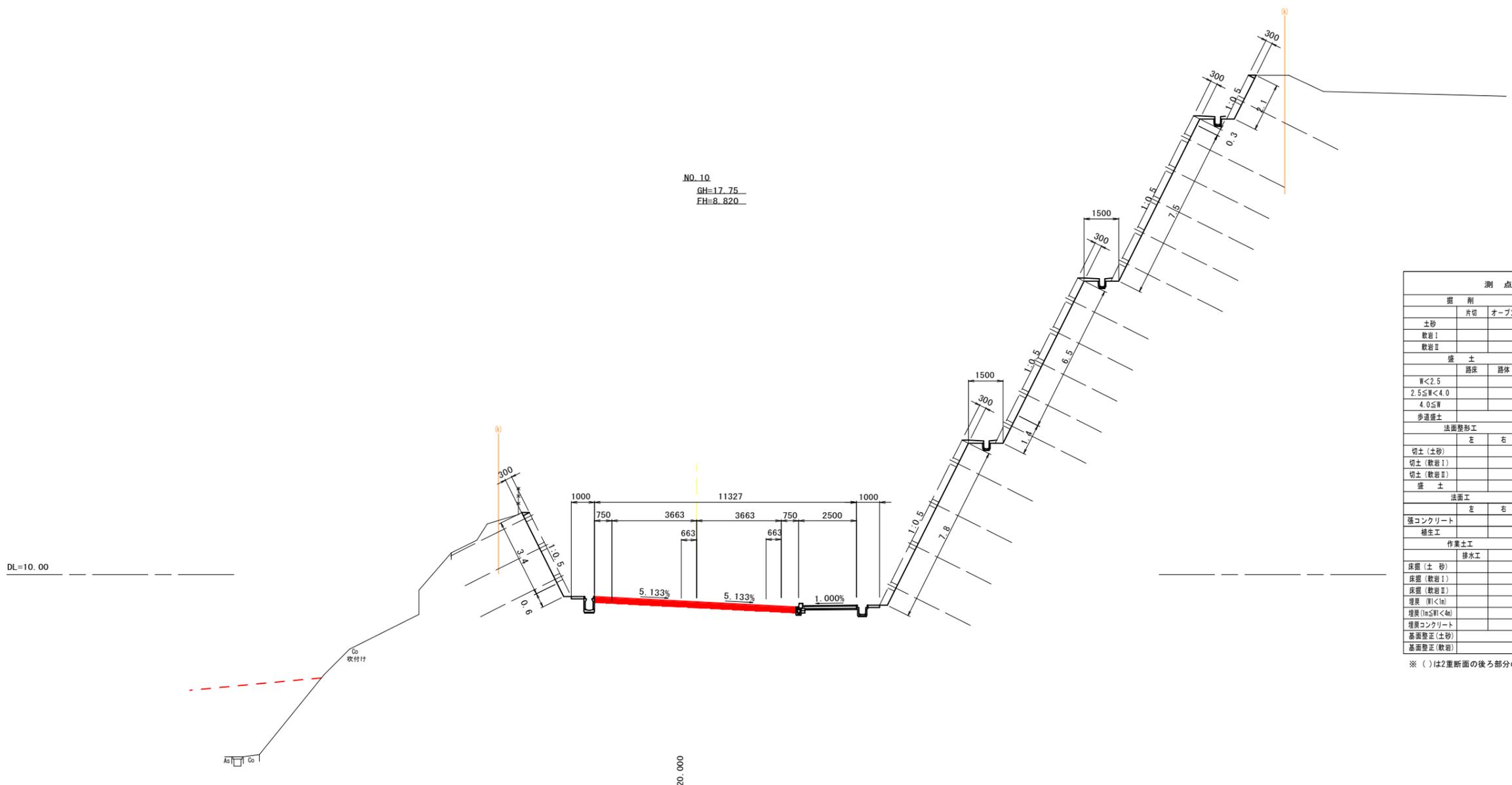
測点 NO. 8+10.00			
掘削	片切	オープン	舗装準備工
土砂			不陸整正 8.88
敷岩Ⅰ			
敷岩Ⅱ			舗装工
盛土		表層(排水性)	
路床	路体	基層	8.88
W<2.5		上層路盤(t=100)	8.88
2.5≤W<4.0		下層路盤(平均t=50)	8.88
4.0≤W		下層路盤(t=100)	
歩道盛土		表層(普通)	
法面整形工			
	左	右	表層
切土(土砂)			路盤
切土(敷岩Ⅰ)			フィルター層
切土(敷岩Ⅱ)			取壊し工
盛土			左
			右
法面工		Co(無筋)(m ²)	
	左	右	As t=5cm(m)
強コンクリート			吹付 t=10cm(m)
植生工			
作業土工			
排水工			
床掘(土砂)			
床掘(敷岩Ⅰ)			
床掘(敷岩Ⅱ)			
埋戻(埋<埋)			
埋戻(埋<埋)<4m)			
埋戻コンクリート			
基盤整正(土砂)			
基盤整正(敷岩)			

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

NO. 8+10~NO. 9	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面(7)	1/3
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	2/1

※1. (k)は設計幅杭である。(用地境界ではない)
 ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
 ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。

NO.10
 GH=17.75
 FH=8.820



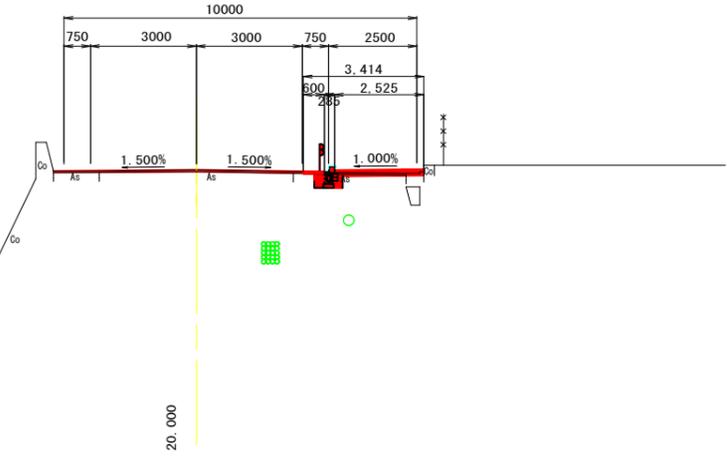
測点 NO.10			
掘削	舗装準備工		
土砂	片切	オープン	不陸整正
数量I			8.71
数量II			
盛土	舗装工		
路床	表層(排水性)		
路体	基層		8.71
W<2.5	車道	上層路盤(t=100)	8.71
2.5≤W<4.0	道	下層路盤(平均t=50)	8.71
4.0≤W		下層路盤(t=100)	
歩道盛土		表層(普通)	
法面整形工			
切土(土砂)	左	右	歩道
切土(軟岩I)			表層
切土(軟岩II)			路盤
盛土			フィルター層
法面工			取壊し工
左	右	Co(無筋)(m ²)	左
		As t=5cm(m)	右
強コンクリート		吹付 t=10cm(m)	
養生工			
作業土工			
排水工			
床掘(土砂)			
床掘(軟岩I)			
床掘(軟岩II)			
埋戻(埋<h)			
埋戻(埋≤W<4m)			
埋戻コンクリート			
基礎整正(土砂)			
基礎整正(軟岩)			

※()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

NO.10	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面(8)	1.4
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	2.1

- ※1. (k) は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。

NO. 15
GH=2.79
FH=2.790

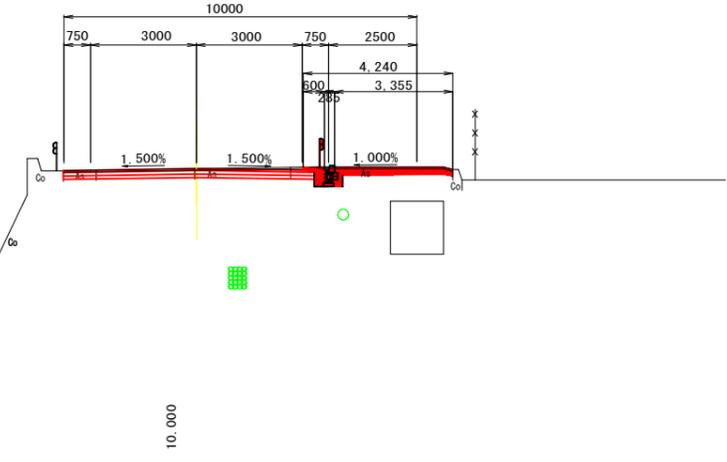


DL=-5.00

測点 NO. 15					
掘削	片切	オープン	舗装準備工		
			不陸整正	車道	歩道
土砂			不陸整正	0.3	
軟岩Ⅰ					
軟岩Ⅱ					
盛土			舗装工		
W<2.5	路床	路体	表層(排水性)		
			基層		
2.5≤W<4.0			上層路盤(t=100)		
4.0≤W			下層路盤(平均t=50)		
歩道盛土			下層路盤(t=100)		
			表層(普通)	0.6	
法面整形工			歩道		
	左	右	表層	2.52	
切土(土砂)			路盤	2.52	
切土(軟岩Ⅰ)			フィルター層	2.42	
切土(軟岩Ⅱ)					
盛土			取壊し工		
			左		右
法面工			Co(無筋)(m ²)		
	左	右	As t=5cm(m)	3.4	
張コンクリート			吹付 t=10cm(m)		
養生工					
作業土工					
			排水工		
床掘(土砂)				0.4	
床掘(軟岩Ⅰ)					
床掘(軟岩Ⅱ)					
埋戻(W<1m)				0.2	
埋戻(1m≤W<4m)					
埋戻コンクリート					
基面整正(土砂)					
基面整正(軟岩)					

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

NO. 14
GH=3.27
FH=3.270

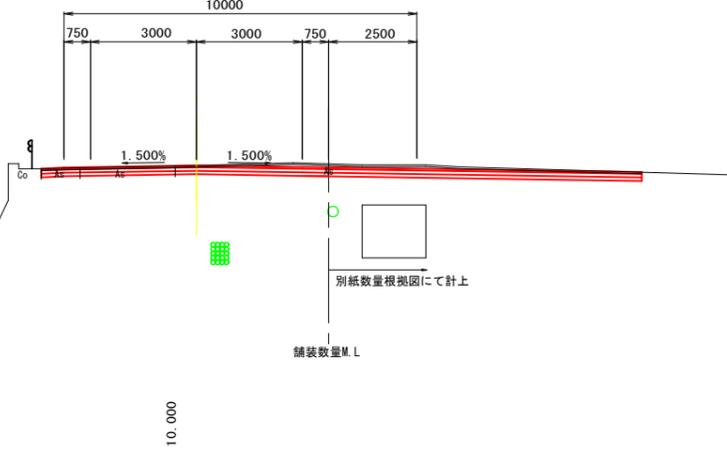


DL=-5.00

測点 NO. 14					
掘削	片切	オープン	舗装準備工		
			不陸整正	車道	歩道
土砂			不陸整正	0.3	
軟岩Ⅰ					
軟岩Ⅱ					
盛土			舗装工		
W<2.5	路床	路体	表層(排水性)		
			基層		
2.5≤W<4.0			上層路盤(t=100)		
4.0≤W			下層路盤(平均t=50)		
歩道盛土			下層路盤(t=100)		
			表層(普通)	0.6	
法面整形工			歩道		
	左	右	表層	3.35	
切土(土砂)			路盤	3.35	
切土(軟岩Ⅰ)			フィルター層	3.25	
切土(軟岩Ⅱ)					
盛土			取壊し工		
			左		右
法面工			Co(無筋)(m ²)		
	左	右	As t=5cm(m)	4.2	
張コンクリート			吹付 t=10cm(m)		
養生工					
作業土工					
			排水工		
床掘(土砂)				0.9	
床掘(軟岩Ⅰ)					
床掘(軟岩Ⅱ)					
埋戻(W<1m)				0.2	
埋戻(1m≤W<4m)					
埋戻コンクリート					
基面整正(土砂)					
基面整正(軟岩)					

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

NO. 13+10.00
GH=3.51
FH=3.510



DL=-5.00

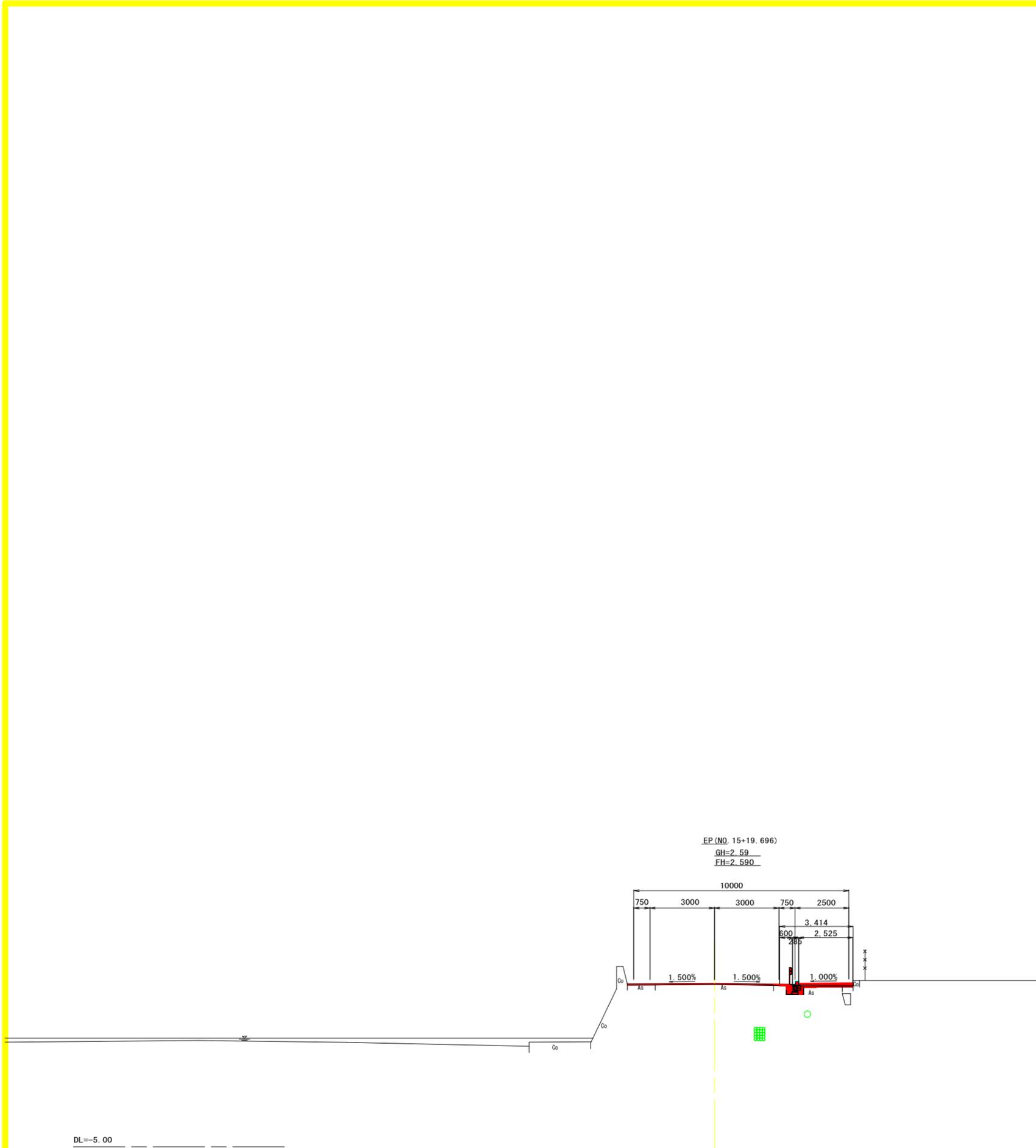
測点 NO. 13+10.00					
掘削	片切	オープン	舗装準備工		
			不陸整正	車道	歩道
土砂			不陸整正		
軟岩Ⅰ					
軟岩Ⅱ					
盛土			舗装工		
W<2.5	路床	路体	表層(排水性)		
			基層		
2.5≤W<4.0			上層路盤(t=100)		
4.0≤W			下層路盤(平均t=50)		
歩道盛土			下層路盤(t=100)		
			表層(普通)		
法面整形工			歩道		
	左	右	表層		
切土(土砂)			路盤		
切土(軟岩Ⅰ)			フィルター層		
切土(軟岩Ⅱ)					
盛土			取壊し工		
			左		右
法面工			Co(無筋)(m ²)		
	左	右	As t=5cm(m)		
張コンクリート			吹付 t=10cm(m)		
養生工					
作業土工					
			排水工		
床掘(土砂)					
床掘(軟岩Ⅰ)					
床掘(軟岩Ⅱ)					
埋戻(W<1m)					
埋戻(1m≤W<4m)					
埋戻コンクリート					
基面整正(土砂)					
基面整正(軟岩)					

※ ()は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

別紙数量根拠図にて計上
舗装数量M.L

NO. 13+10~NO. 15	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面(9)	1/5
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
	2/1

- ※1. (k)は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。



測 点 EP (NO. 15+19.696)			
掘 削		舗装準備工	
土砂	片切 オープン	不陸整正	車道 歩道
			0.3
教層 I			
教層 II			
盛 土		舗装工	
路床	路体	表層 (排水性)	
W<2.5		基層	
2.5≤W<4.0		上層路盤 (t=100)	
4.0≤W		下層路盤 (平均t=50)	
歩道盛土		下層路盤 (t=100)	
		表層 (普通)	0.6
法面整形工			
	左 右	歩 表 層	2.52
切土 (土砂)		路 盤	2.52
切土 (教層 I)		フィルター層	2.42
切土 (教層 II)		取壊し工	
盛 土		左 右	
法面工		Co (無筋) (m ²)	
	左 右	As t=5cm (m)	3.4
強コンクリート		吹付 t=10cm (m)	
補修工			
作業土工			
		排水工	
床掘 (土 砂)			0.4
床掘 (教層 I)			
床掘 (教層 II)			
埋戻 (埋<1m)			0.2
埋戻 (埋≤1m<4m)			
埋戻コンクリート			
基面整正 (土砂)			
基面整正 (教層)			

※ () は2重断面の後ろ部分の数量を示す。

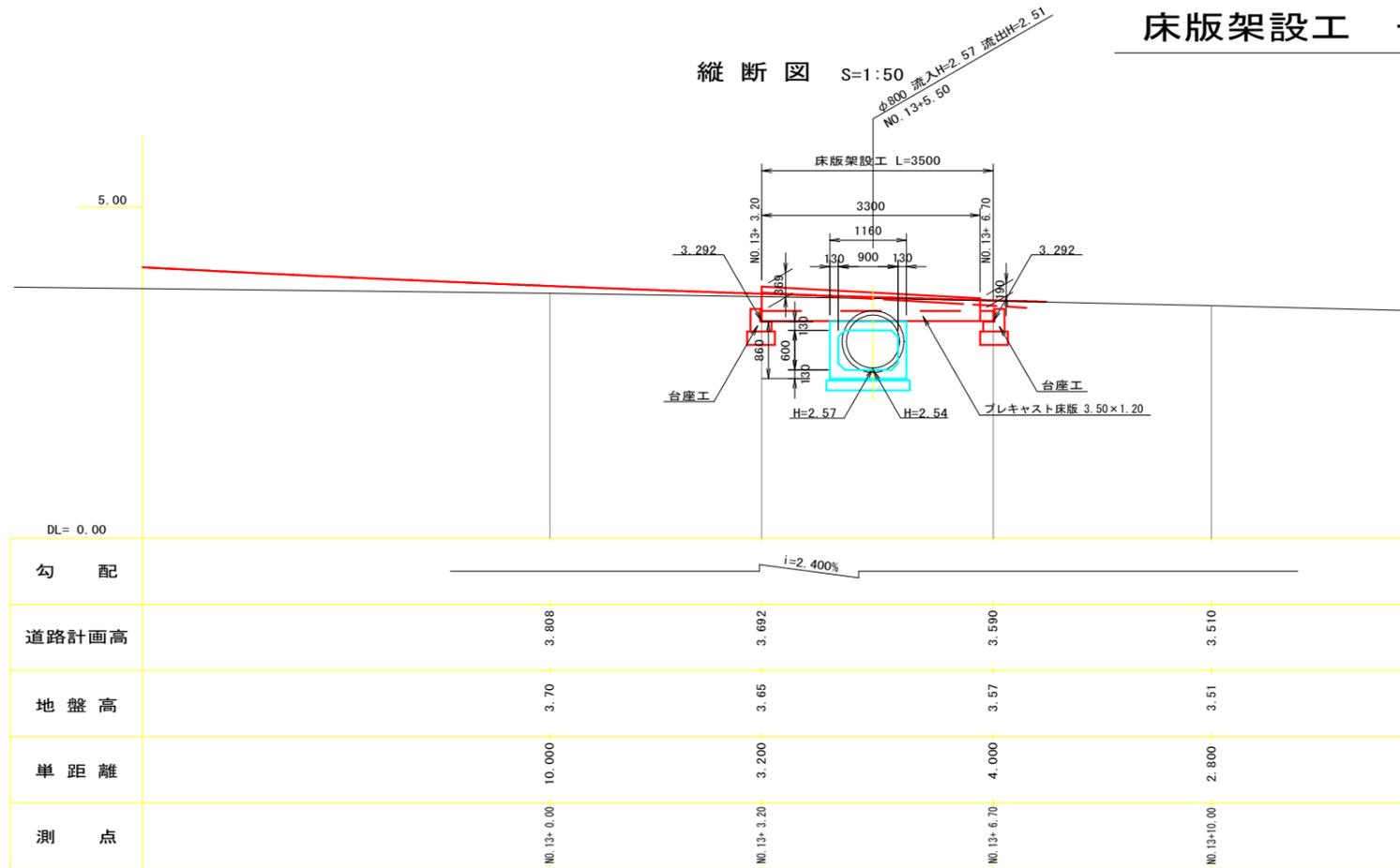
(注) EPの横断面図はNO. 15の横断面図を流用したものである。

- ※1. (k) は設計幅杭である。(用地境界ではない)
- ※2. 地層線は推定によるものであるため、掘削時に土質を確認する事。
- ※3. 埋設物は推定のため、実際の位置、深さは管理者立会の下確認する事。

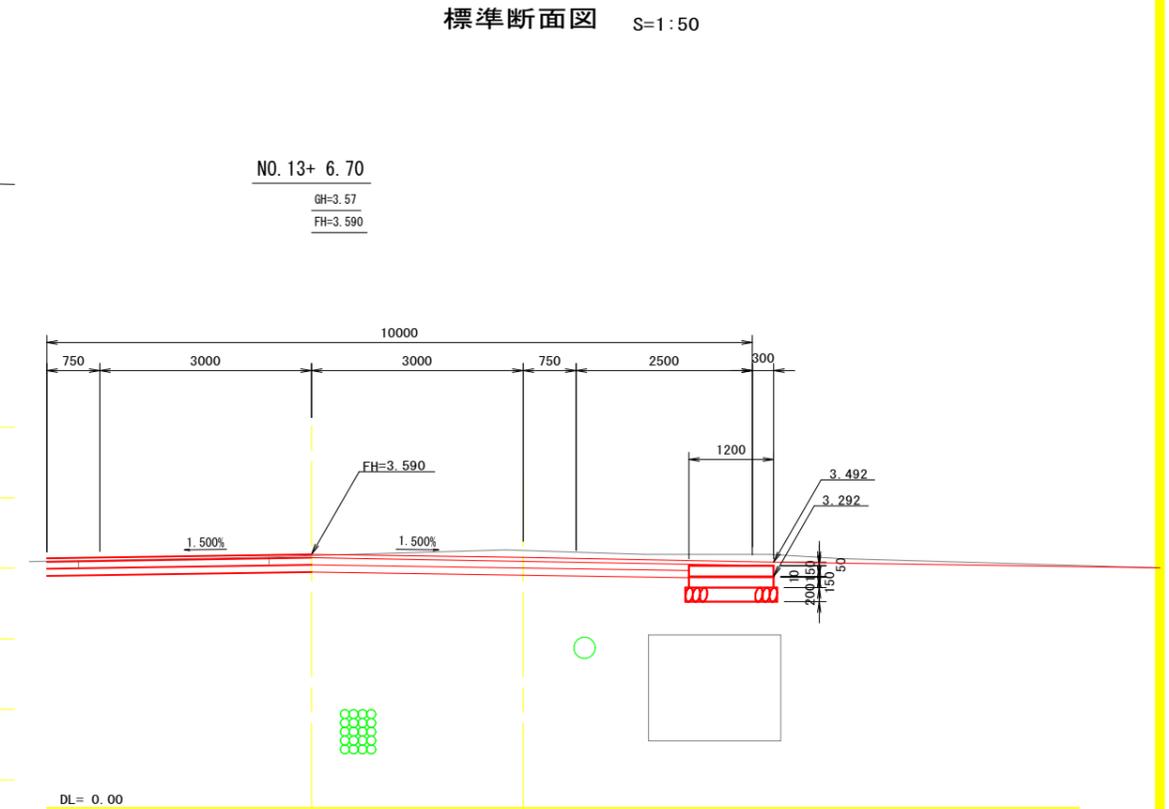
EP	
令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
横断面 (10)	1/6
縮 尺	A1 1:100 A3 1:200
	2/1

床版架設工 一般図

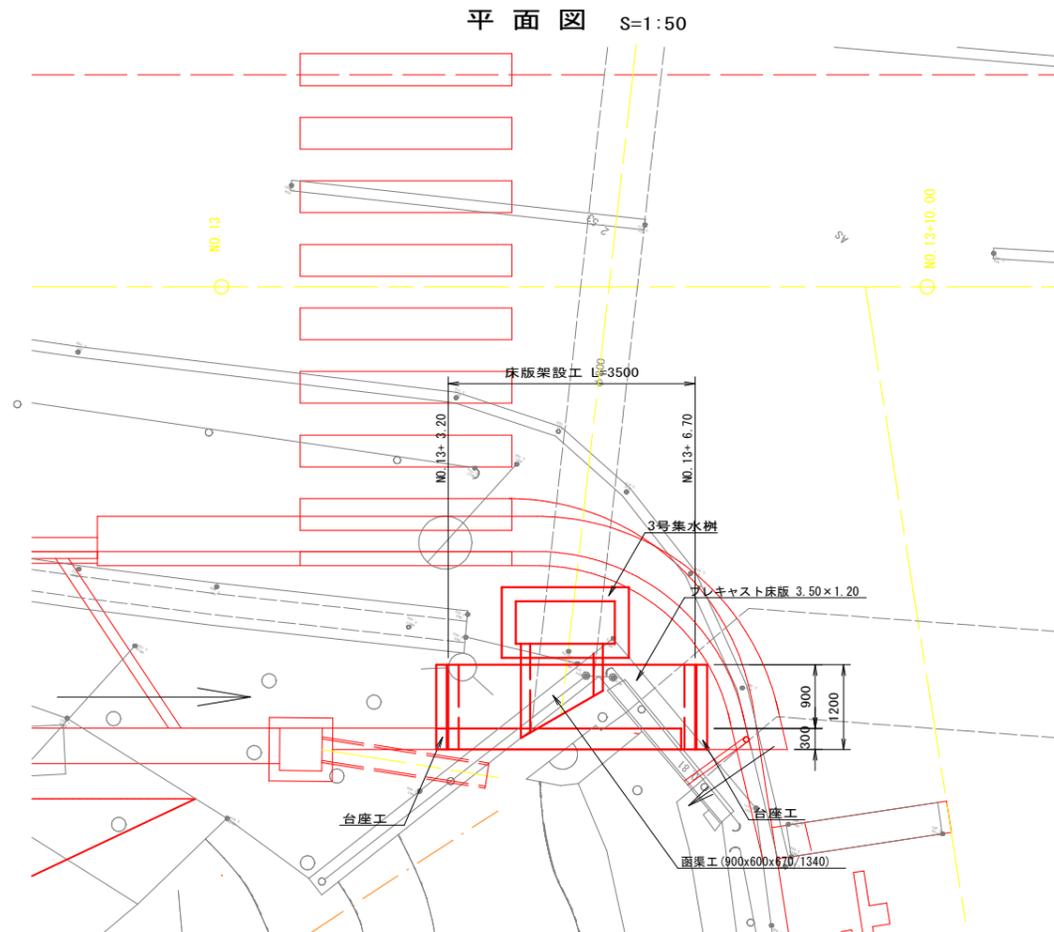
縦断図 S=1:50



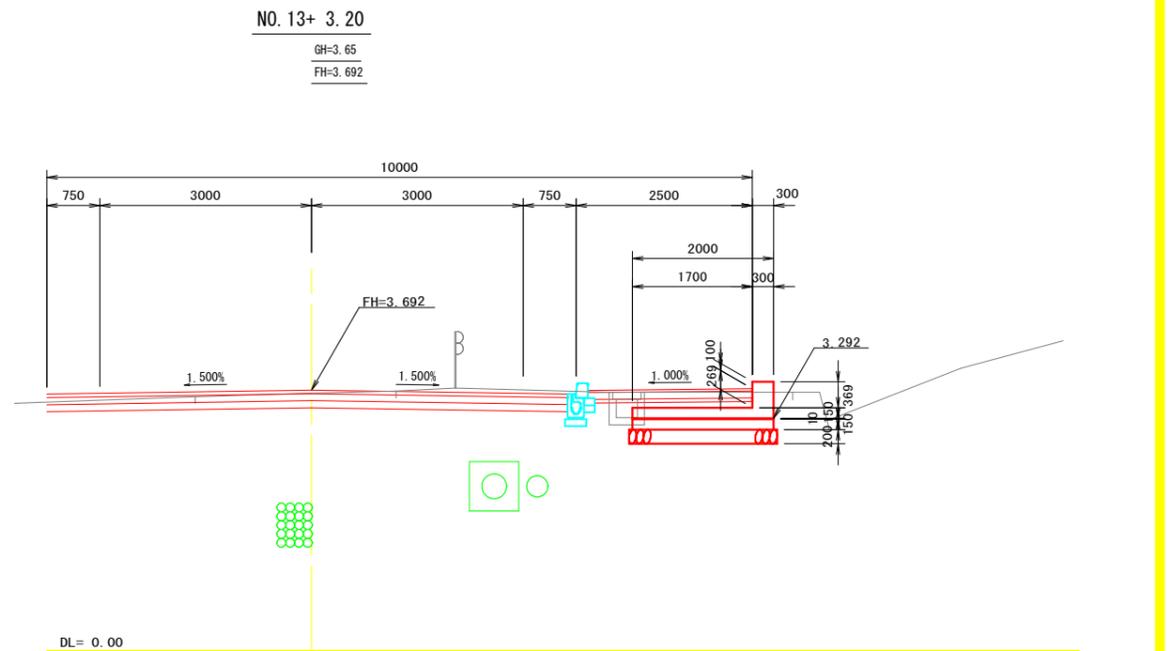
標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



NO.13+3.20
GH=3.65
FH=3.692



令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
床版架設工 一般図	1/7
縮尺 図示	2/1

床版架設工構造図

3号集水樹

S=1/20

地覆用差筋あり

プレキャスト床版 構造図

S=1/30

注) 吊金具、ズレ止め工の位置は概略です。

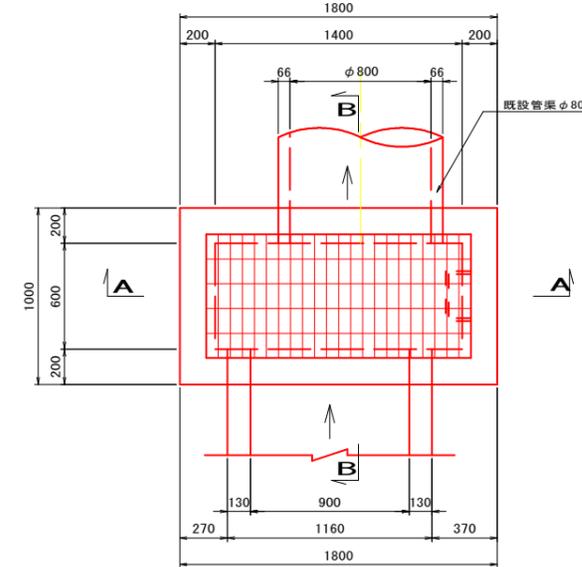
設計条件

呼び寸法	3,500x1,200x0,15m
活荷重	群集荷重3.5kN/m ²
単位体積重量	鉄筋コンクリート γc=24.5kN/m ³

コンクリート	設計基準強度	σ _{ck} =30N/mm ²
	許容圧縮応力度	σ _{ca} =10N/mm ²
	許容せん断応力度	σ _{ca} =0.25N/mm ²
鉄筋	許容引張応力度	σ _{sa} =160N/mm ²
	鉄筋の種類	鉄筋コンクリート

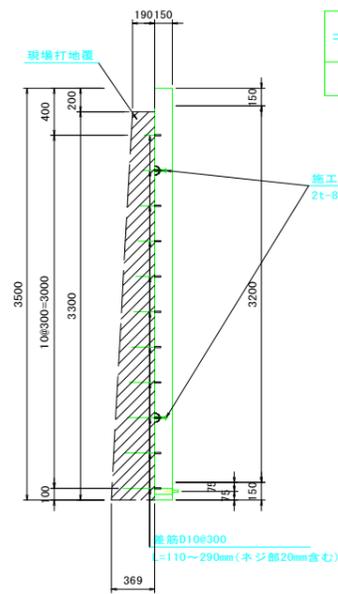
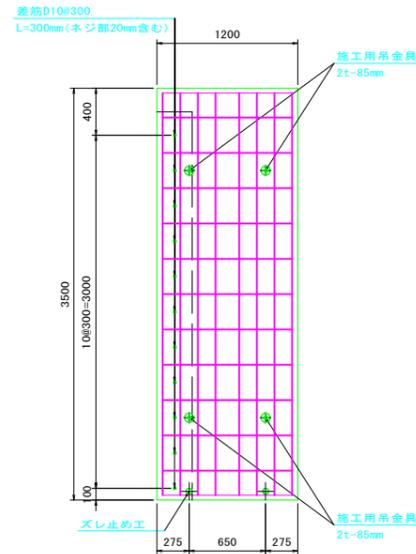
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

平面図



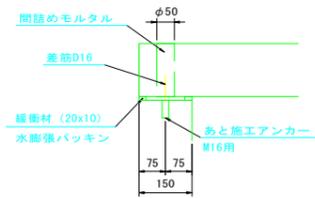
数量表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	m ³	1.13
型枠	小型構造物	m ²	10.0
基礎材	RC-40, t=200	m ²	2.1
グレーチング蓋	歩道用 落込み式	組	1
足掛金具	D13 L=700	個	3



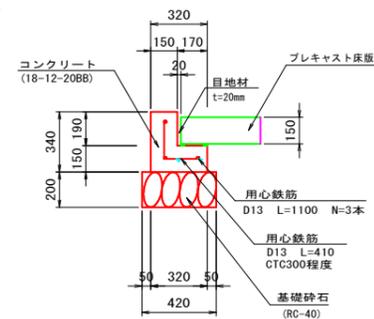
ズレ止め工

S=1/10



台座工構造図

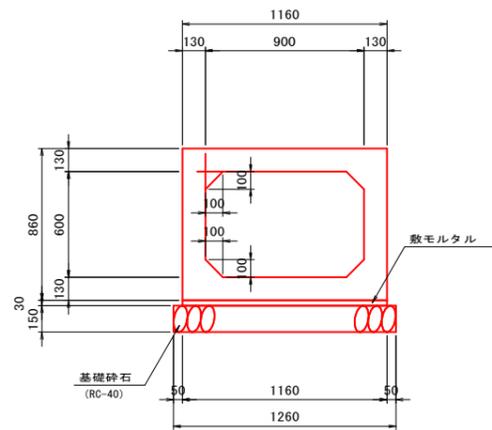
S=1/20



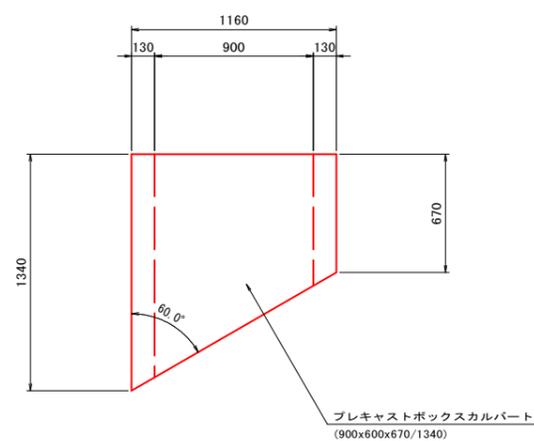
函渠工

S=1/20

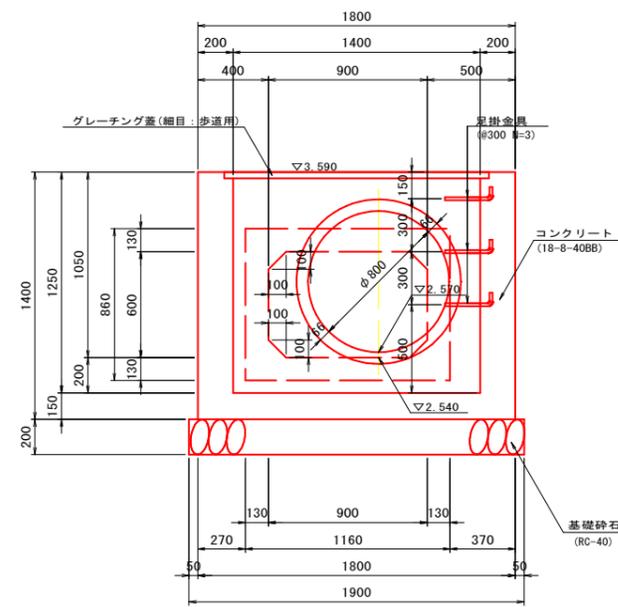
断面図



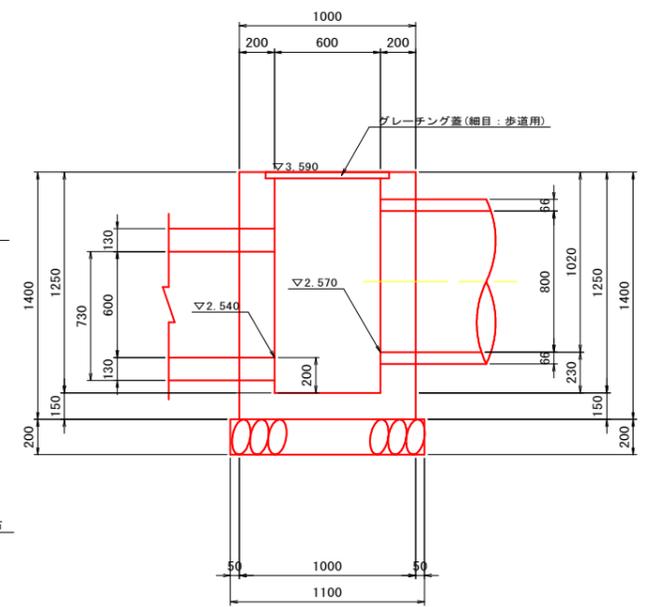
平面図



A-A



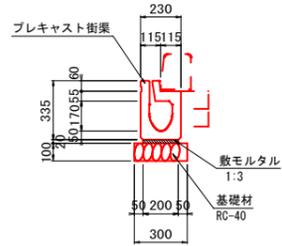
B-B



令和7年度	市道 那波佐方線	道路新設工事
市道 那波佐方線		
相生市 那波 地内		
床版架設工 構造図	18	全
縮尺 図示	2	1

構造図 (1)

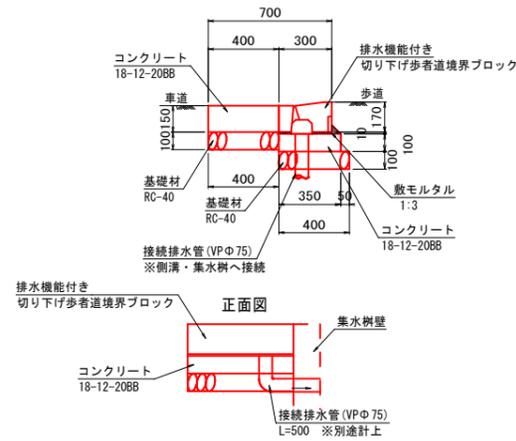
プレキャスト街渠
S=1:20



数量表		10.0m当り	
名称	規格	単位	数量
プレキャスト街渠	都市型街渠150型	個	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.04
基礎材	RC-40 t=100	m ²	3.0

※岩着の場合は、基礎材無し

現場打街渠 (2)
(NG515K-S) S=1:20

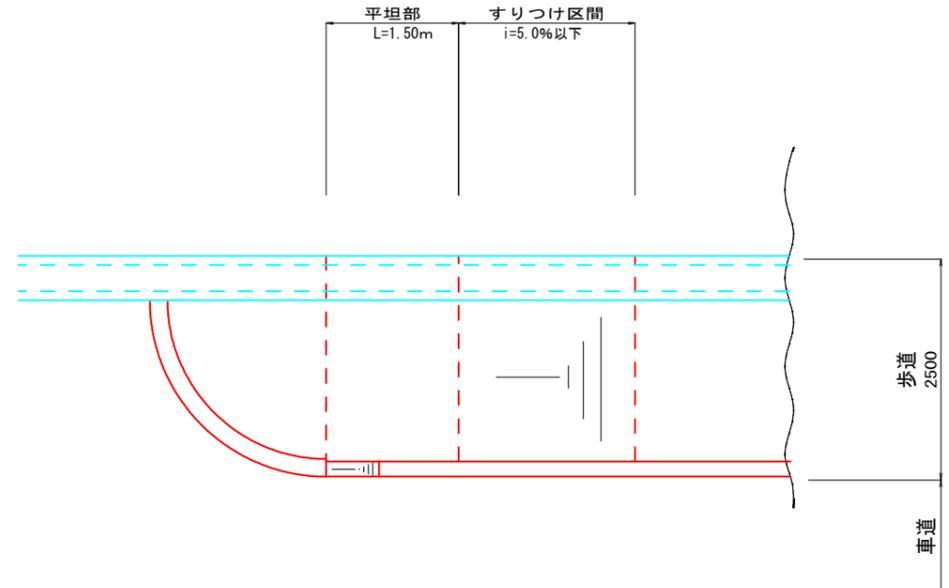


数量表		10.0m当り	
名称	規格	単位	数量
歩道境界ブロック	排水機能付き切り下げ	個	16.5
コンクリート	18-12-20BB	m ³	0.95
型枠	小型構造物	m ²	3.5
敷モルタル	1:3	m ³	0.03
基礎材	RC-40 t=100	m ²	8.0

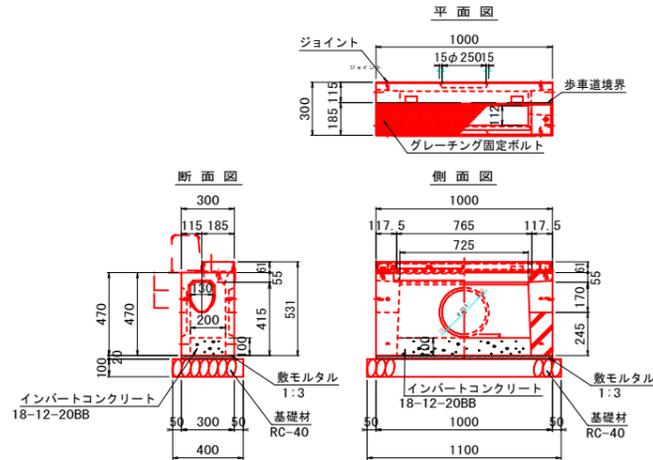
※岩着の場合は、基礎材無し

セミフラット型歩道詳細図

平面図
S=1:50



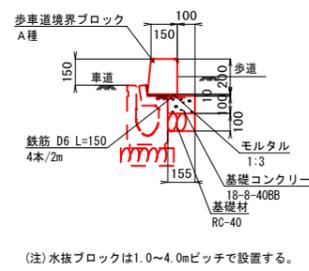
1号街渠樹
S=1:20



数量表		10箇所当り	
名称	規格	単位	数量
プレキャスト樹	プレキャスト街渠用個		10.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.06
基礎材	RC-40 t=100	m ²	4.4
インパットコンクリート	18-12-20BB	m ³	0.15

※岩着の場合は、基礎材無し

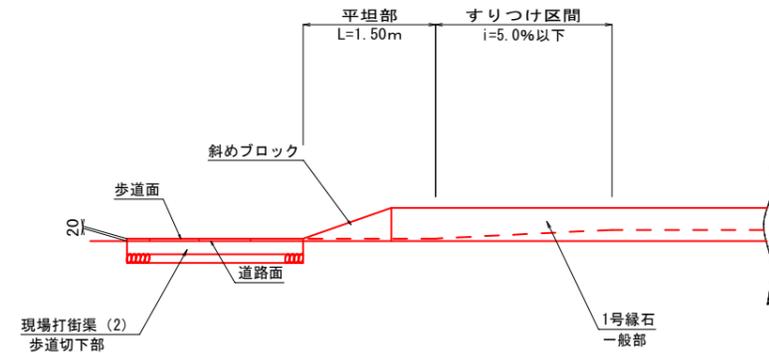
1号縁石
S=1:20



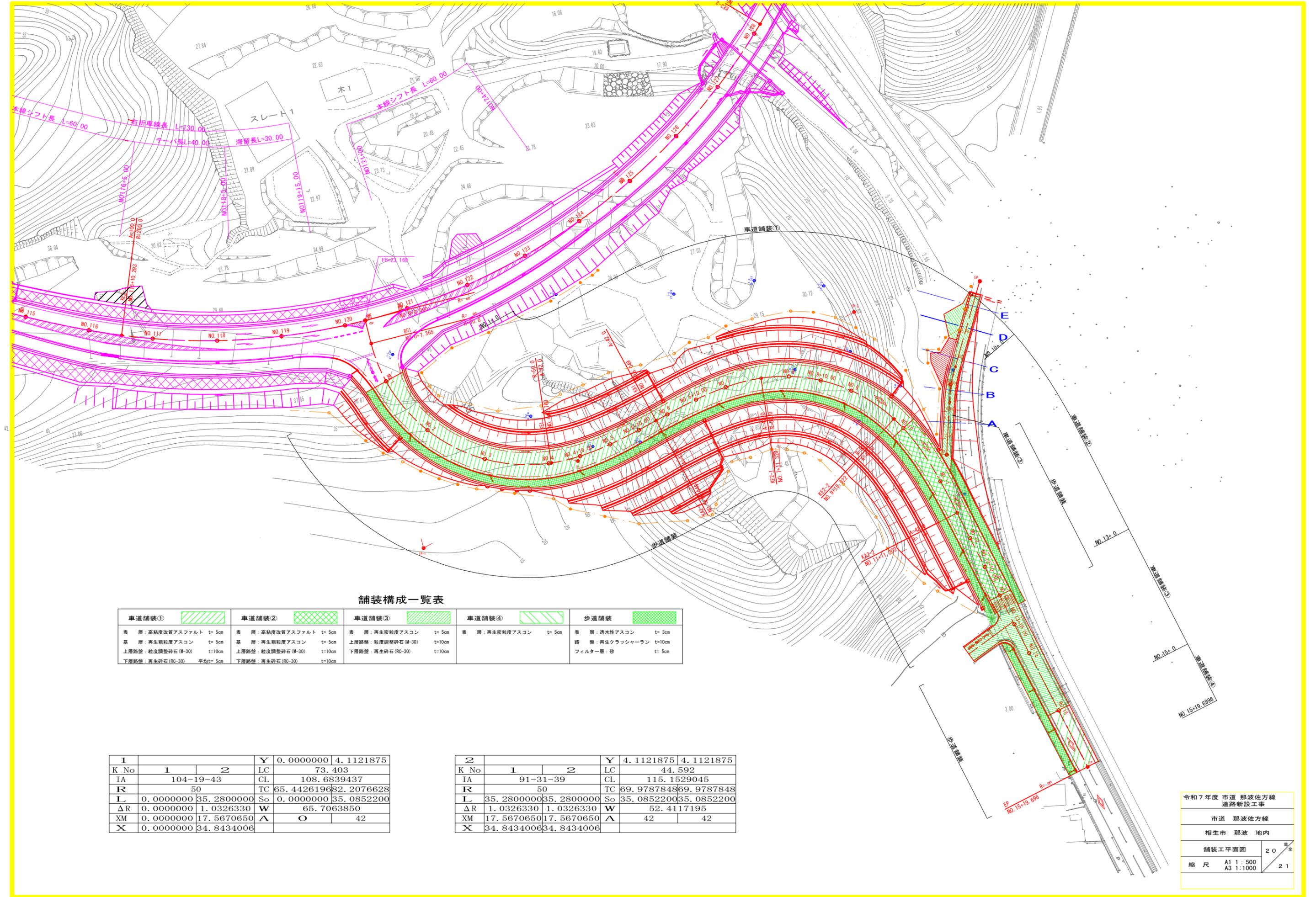
(注)水抜ブロックは1.0~4.0mピッチで設置する。

数量表		10.0m当り	
名称	規格	単位	数量
歩道境界ブロック	A種, 両面R	個	16.5
敷モルタル	1:3	m ³	0.03
基礎コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.16
型枠	均し	m ²	1.0
基礎材	RC-40, t=100	m ²	1.55
鉄筋	D16 L=150	kg	4.7

正面図
H=1:50
V=1:20



令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
構造図(1)	19/21
縮尺 図示	2/1



舗装構成一覧表

車道舗装①	車道舗装②	車道舗装③	車道舗装④	歩道舗装
表層: 高粘度改質アスファルト t=5cm 基層: 再生粗粒度アスコン t=5cm 上層路盤: 粒度調整砕石(M-30) t=10cm 下層路盤: 再生砕石(RC-30) 平均t=5cm	表層: 高粘度改質アスファルト t=5cm 基層: 再生粗粒度アスコン t=5cm 上層路盤: 粒度調整砕石(M-30) t=10cm 下層路盤: 再生砕石(RC-30) t=10cm	表層: 再生密粒度アスコン t=5cm 上層路盤: 粒度調整砕石(M-30) t=10cm 下層路盤: 再生砕石(RC-30) t=10cm	表層: 再生密粒度アスコン t=5cm	表層: 透水性アスコン t=3cm 路盤: 再生クラッシャーラン t=10cm フィルター層: 砂 t=5cm

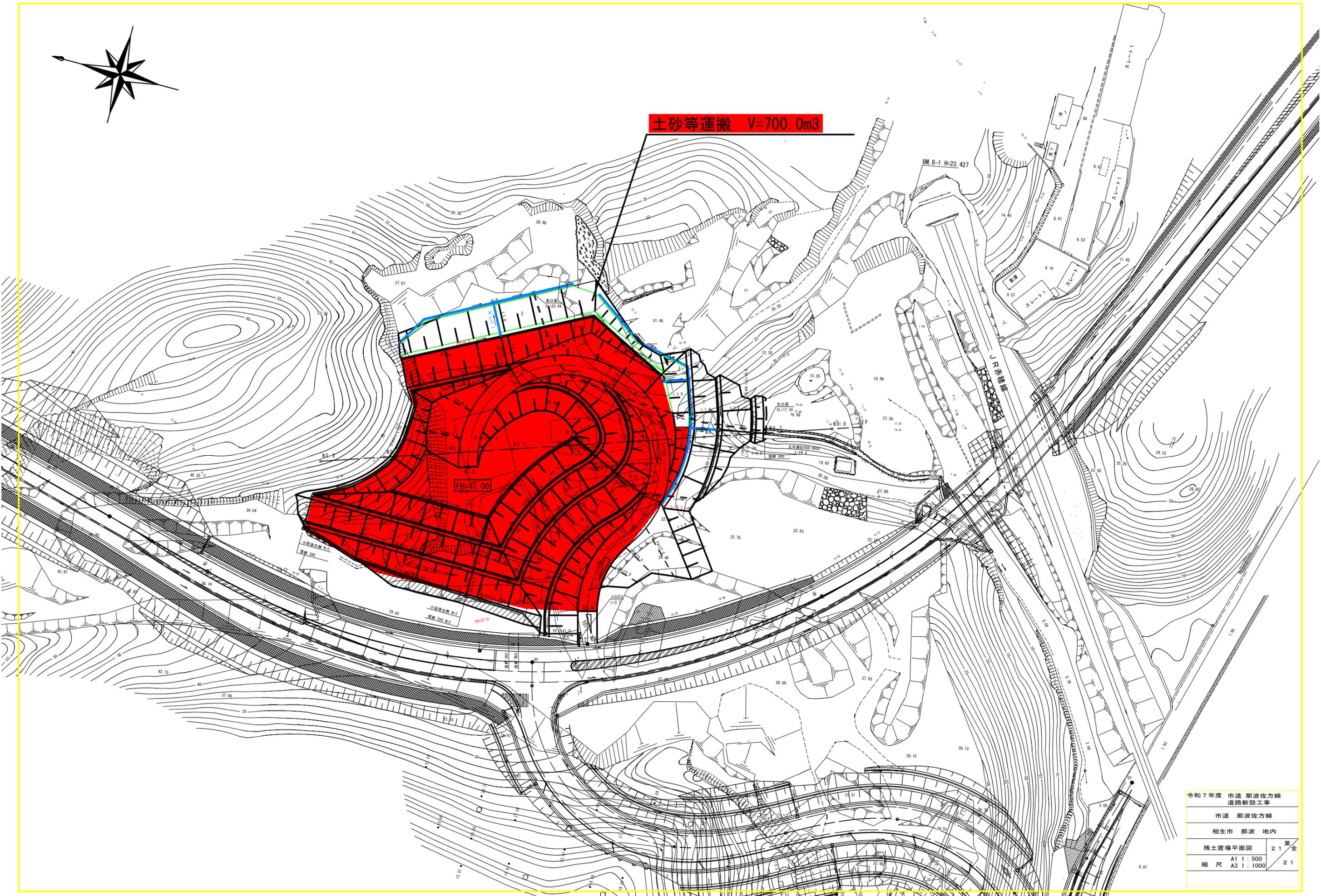
1		Y	
K No	1 2	LC	4.1121875
IA	104-19-43	CL	73.403
R	50	TC	108.6839437
L	0.0000000 35.2800000	So	65.4426196 82.2076628
ΔR	0.0000000 1.0326330	W	0.0000000 35.0852200
XM	0.0000000 17.5670650	Δ	65.7063850
X	0.0000000 34.8434006	O	42

2		Y	
K No	1 2	LC	4.1121875 4.1121875
IA	91-31-39	CL	44.592
R	50	TC	115.1529045
L	35.2800000 35.2800000	So	69.9787848 69.9787848
ΔR	1.0326330 1.0326330	W	35.0852200 35.0852200
XM	17.5670650 17.5670650	Δ	52.4117195
X	34.8434006 34.8434006	Δ	42 42

令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
舗装工平面図	20
縮尺	A1 1:500 A3 1:1000
	21



土砂等運搬 V=700.0m³



令和7年度 市道 那波佐方線 道路新設工事	
市道 那波佐方線	
相生市 那波 地内	
残土置場平面図	2 / 1 葉全
A1 1 : 500	2 / 1
縮尺 A3 1 : 1000	